

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	キリスト教概論	教員名	近藤愛哉
科目時間数:	26	時限	授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別:	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年:	1年
		開講時期:	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 紀元前（旧約聖書）、紀元1世紀（新約聖書）に書かれた「古典」でありながら、現代においても世界中で読み継がれ、多くの人々に生きる指針を与え続けている聖書に触れ、この世界、人間という存在を理解するための一つの糸口を見出す。キリスト教の世界観を知ることにより、学生たちの世界観、人間観の構築の一助とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 イエス・キリストという人物、その教え、生き方に触れる。旧約聖書の世界観、人間観に触れる。</p> <p>【授業における達成課題】 キリスト教の思想や哲学が社会福祉に与えた影響を理解できる</p>			
	使用教材	出版社	
	「聖書」	日本聖書協会	
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 教会牧師</p>			

科目名 キリスト教概論		科目時限総数 26 時限	教員名 近藤愛哉
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業計画の確認。「キリスト教概論」を学ぶ意義を知る。	
2, 3 限	聖書という書物	聖書66巻の構成／世界中で読まれ続けている聖書／その成り立ちを知る。	
4, 5 限	イエス・キリストと 新約聖書（福音書）	イエスの人物像／その生涯を記録した「福音書」について	
6, 7 限	マルコによる福音書 を読む	小グループに分かれて、聖書に記録されている内容についてディス カッションをする。	
8, 9 限	イエスの生き方/視 点/教えに触れる	イエスの教えが現代に生きる私たちにとってどのような意味を持つ のか考える。	
10, 11 限	同上	同上	
12, 13 限	立体的に聖書を捉え る	映画「サンオブゴッド」鑑賞	
14, 15 限	同上	同上	
16, 17 限	世界を変えた十字架	イエス・キリストの十字架が世界に及ぼしている影響・その意味につ いて考える。 ※ネルソン・マンデラの人生	
18, 19 限	旧約聖書に見る世界 観	旧約聖書「創世記」から、この世界について考える。	
20, 21 限	旧約聖書に見る人間 観	旧約聖書「創世記」から、人間の存在について考える。	
22, 23 限	同上	同上	
24 限	旧約聖書の人物	旧約聖書の人物「ノア」「アブラハム」「モーセ」らの生き方につ いて考える。	
25 限	世界の問題・課題と 聖書	聖書が世界の問題・課題に対してどのように解決の糸口をもたらすこ とができるのか。	
26 限	まとめ	15週を振り返って、それぞれが聖書とどのように向き合い、その内容 を受け取ったのかをまとめる。	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報リテラシー入門	教員名 阿部 修巳
科目時間数 : 8 時限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 4年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの基本操作の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 WORD（ワープロ）の基本的な操作方法と実用的なドキュメントの作成</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、心理福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>	
	使用教材
	出版社
	Word 2016 FOM出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 一般企業におけるエンジニア</p>	

科目名	情報リテラシー入門	総時限数	8 時限	教員名	阿部 修巳
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	タイピング	パソコンの基本操作・用語、タッチメソッドの確認			
2 限	WORDの基礎知識	現在のビジネス環境とネットワーク、WORDの概要説明			
3 限	文字入力	タッチメソッドの練習色々な方法での日本語変換			
4 限	〃	〃			
5 限	文書の作成	タッチメソッド、ページの設定			
6 限	〃	セキュリティ対策とトラブルシューティング			
7 限	〃	〃			
8 限	確認試験	実技・知識的要素の確認			

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 身体による表現活動	教員名 高橋裕貴子		
科目時間数 : 11 時限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>		
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>	
<p>【授業の目的・ねらい】 スポーツは様々な分野でレクリエーションやリラクゼーションの手法となっており、老若男女問わず楽しめるものから、競技性を重視したものまで幅広く扱われている。各種スポーツのルールを通し、団体競技の目的を理解するとともに、スポーツ実技における基本的な姿勢や目的、価値を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・レクリエーションやスポーツの役割を学ぶ。 ・スポーツのルールの意義を学び、団体競技の楽しさを知る ・スポーツが福祉支援に与える影響を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 ・各種スポーツのルールを理解する。 ・団体競技の特性を知り、チームプレーの重要性を理解する。 ・自ら主体的に協議に参加する姿勢を身に着ける。</p>			
	使用教材	出版社	
	※実技のため、その都度提示		
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. <u>その他</u> (体育館等)	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. <u>レポート</u>	3. <u>出席</u>	4. <u>授業態度</u>
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 公立学校の体育講師等			

科目名		科目時間総数	教員名
身体による表現活動		11 時限	高橋 裕貴子
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	球技	バレーボール・ドッチボール・バスケットボールのルール・プレー	
2 限	↓	↓	
3 限			
4 限			
5 限			
6 限	↓	↓	
7 限	レクリエーション	筋力トレーニング・ダンスの展開	
8 限	↓	↓	
9 限			
10 限			
11 限	↓	↓	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 言語による表現活動	教員名 川村 繭子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 4年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自分のことを英語で表現できるようになる。また、英語でコミュニケーションをとりながらクラス名を知り、より発話しやすい環境を作る。簡単な英単語がとっさに言える瞬発力を高め、色々な場面での英会話表現を知り、実際に発話できるように導く。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりすることができるようになる。 ・場面に応じた英会話表現をとっさに表現できるようになる。 			
	使用教材	出版社	
	Passport1 second edition	Oxford Press	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 英会話教室講師</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
言語による表現活動		15 時限	川村 繭子
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 英語で自己紹介する	英語で自己紹介、英語でクラスメイトの紹介をする	
2 限	簡単な英会話表現 機内で質問する	How do you say _____ in English?の表現ができる	
3 限	〃	Unit1 : Would you kile chicken of fish?	
4 限	簡単な英会話表現 入国審査に挑む	What's color is _____?の表現ができる	
5 限	〃	Unit2 : Can I have your passport, please?	
6 限	簡単な英会話表現 食べ物を注文する	IN which month is ____?の表現ができる	
7 限	〃	Unit5:Are you ready to order?	
8 限	簡単な英会話表現 家族について話す	What's _____?の表現ができる	
9 限	〃	Unit3:My mother has her own buisiness.	
10 限	簡単な英会話表現 道をたずねる	How many _____ are there in _____?の表現ができる	
11 限	〃	Unit6:Where's the station?	
12 限	簡単な英会話表現 病状を話す	What's the first letter of _____?の表現ができる	
13 限	〃	Unit9:I have a stomackache.	
14 限	簡単な英会話表現 地元について話す	What does _____ say in English?の表現ができる	
15 限	〃	Unit10:I'm from Japan.	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		日本国憲法		教員名		関谷 揚子	
科目時間数 :		30		授業の種類 :		講義・演習・実習	
必修・選択の別 :		必修・選択		配当学年		4年	
				開講時期 :		前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 大学における憲法学は、高校における授業とは大きく異なる。単に制度の枠組みの解説をするのではなく、制度の趣旨や目的を知り、様々な解釈を通じて一定の結論を導き出せるような能力を養うことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 福祉分野の人材育成を目標とする本校では、特に基本的人権に関する時間を多く設ける。</p> <p>【授業における達成課題】 主権者として国民一人一人が憲法に正面から向き合ってほしいと考える。今までに身近に感じていなかったであろう憲法が、実は一人一人の幸福を実現させてくれていることを知ってほしい。</p>							
		使用教材			出版社		
		スタート憲法			成文堂		
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>							
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>							
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>							
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>							
<p>【内容】 司法機関における職員</p>							

科目名		科目時限総数	教員名
日本国憲法		30 時限	関谷 揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	憲法とは何か	基本原則、種類、立件主義として歴史から感じる近代憲法	
2 限	〃	日本の憲法、大日本帝国憲法の特色を理解する	
3 限	〃	〃	
4 限	基本原理	国民主権として象徴天皇、皇室典範を理解する	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	平和主義	戦争の放棄とは何か、9条1項の解釈と平和主義を理解する	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	基本的人権	公共の福祉を理解する	
11 限	〃	個人の尊重を理解する	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	裁判所	第二回の課題レポート提出の内容を理解する	
16 限	〃	日本の司法権について理解する	
17 限	〃	違憲審査権と過去の判例を読み込む	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	人権とは②	新しい人権とは	
21 限	〃	裁判員制度の理解	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	裁判員制度の理解	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	精神的自由とは	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		法学入門		教員名		高橋 秀憲	
科目時間数 :		11		授業の種類 :		講義・演習・実習	
必修・選択の別 :		必修・選択		配当学年		1年	
				開講時期 :		前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 法律は難しく裁判所は敷居が高いというのが普通の人々の感覚だろう。しかし、その大筋を知り実際に行ってみると、社会に発生する各種トラブル解決のためのなくてはならない道具であることがわかる。が、道具は使いよう。正しく用いるために、その用途と限界をわきまえておきたい。まずは法学的思考の世界を体感してみることである。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 六法をてはじめに法学の基本的概念とその体系性を把握したうえで、憲法・民法・刑法等の基本概念を習得しながら、身近なトピックで照合・確認しつつ応用を試す形で講義を行う。</p> <p>【授業における達成課題】 新聞・テレビ等マスコミに報道される事件・問題あるいは自分の身近な問題を法学的側面から考察し、論点を整理したうえで自分なりの判断ができるようにすること。これを教養ベースにして、専門分野に挑戦し、一人前の社会人としてあるいは裁判員として活躍すること。</p>							
		使用教材			出版社		
		エッセンシャル法学			成文堂		
【使用教室】							
1. HR		2. 介護実習室		3. 家政実習室		4. 視聴覚室	
5. PC実習室		6. 接遇実習室		7. その他 ()			
【評価方法】							
1. 筆記試験		2. レポート		3. 出席		4. 授業態度	
5. 実技試験		6. その他 ()					
【備考】							
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。							
【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>							
【内容】							

科目名		科目時限総数	教員名
法学入門		11	高橋 秀憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	はじめに	礼に始まって例に終わる意味を理解する	
2 限	六法と法令秩序	六法を手掛かりに公法・私法・社会法他様々な基本概念を習得する	
3 限	〃	近代法の原則と現代法の原則、法は生き物であることを理解する	
4 限	裁判所に行ってみよう	裁判の仕組みと裁判所の組織・三審制を理解する	
5 限	国民の要件	憲法10条と国際法の関連法令条文のつながりを理解する	
6 限	車社会と法	民事・刑事・行政責任、服部君事件を振り返りその関係を知る	
7 限	〃	不法行為、原状回復義務と損害賠償責任の内容を知る	
8 限	消費生活と法	契約の自由と公序良俗、契約の無効と取り消しを理解する	
9 限	勤労生活と法	勤労の権利及び義務、労働三権と労働三法を理解する	
10 限	家族生活と法	親子・夫婦・親族、生活保持の義務と扶養の義務を理解する	
11 限	おわりに	国法だけでなく各地域のルールである条例を理解する	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
スポーツ科学論	伊藤 優太
科目時間数 : 15	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 4年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 中部学院大学の科目の一つとして、スポーツの歴史から発育発達などを知る。テーピングは座学だけではなく実技として取り入れ、よりスポーツに関する知識を知る。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 座学を中心に、筋肉などはトレーニング室を使用しながら進めていく。スポーツ選手を中心に、各スポーツや自分自身が体験してきた実際を紹介しながら進めていく。</p> <p>【授業における達成課題】 中部学院大学レポート合格はもちろん、スポーツに興味を持ち自分自身の体づくりまでできるようにする。生涯スポーツを通しより健康に過ごせるきっかけを作る。</p>	
	使用教材
	出版社
	スポーツ科学論
	株式会社みらい
【使用教室】	
1. HR	2. 介護実習室
3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他 ()	
【評価方法】	
1. 筆記試験	2. レポート
3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有・無	
【内容】	

科目名		科目時限総数	時限	教員名
スポーツ科学論		15		伊藤 優太
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	スポーツの変遷	古代～近代スポーツの移行を理解する		
2 限	〃	アマチュアスポーツ、プロスポーツの役割を理解する		
3 限	人体の発育と発達	身体の発育と発達・形態の理解		
4 限	〃	発育・発達に影響を及ぼす因子・加齢		
5 限	運動と筋肉	筋肉の構成、骨格筋の構造、運動エネルギーを理解する		
6 限	〃	無酸素運動、有酸素運動の効果を理解する		
7 限	トレーニングの種類	サーキットトレーニングの効果を理解する		
8 限	〃	サーキットトレーニングの効果		
9 限	スポーツ医学	テーピングの効果を理解する（足首）		
10 限	〃	テーピングの効果を理解する（足首）		
11 限	〃	テーピングの効果を理解する（手首）		
12 限	〃	テーピングの効果を理解する（手首）		
13 限	スポーツと栄養	運動と栄養補給の関係を理解する		
14 限	〃	喫煙や飲酒が及ぼす影響を理解する		
15 限	〃	ディスカッション（スポーツと健康）		

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
生命倫理	近藤 愛哉
科目時間数 : 30	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 2年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 生命に関する諸問題について、その内容を概観しつつ生きるということ、人間の生命について考えつつそのような視点を培っていく。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 生命倫理の諸問題に関する講義とディスカッションを通じ、倫理学の視点や他人の考えに触れつつ、自分がどのような視点を持って判断するのかを考える。</p> <p>【授業における達成課題】 毎回のディスカッションを通して、他人の考えを聞きつつ、自分の視点を持つためのヒントを得る。</p>	
	使用教材
学生用	生命倫理を学ぶ人のために
	出版社
	世界思想社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 教会牧師</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
生命倫理		30	近藤 愛哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	科目説明・授業の狙い	
2 限	インフォームドコンセント	病の告知・自分と家族、それぞれの場合	
3 限	パターナリズム	パターナリズムの実例	
4 限	パーソン論	人工妊娠中絶・障害者・脳死	
5 限	〃		
6 限	生命の申請里生命の質	安楽死について	
7 限	医療資源の配分	医療資源をどう配分するか	
8 限	生きるとは何か	映画鑑賞	
9 限	安楽死	安楽死賛成？反対？	
10 限	〃	映画鑑賞	
11 限	〃	ディスカッション	
12 限	〃	映画鑑賞	
13 限	〃	ディスカッション	
14 限	〃	安楽死まとめ	
15 限	生殖医療	生殖医療の発展の中で生じた問題・見失われたもの	
16 限	〃	胎児に障害、その時あなたは？	
17 限	〃	映画鑑賞	
18 限	〃	ディスカッション	
19 限	〃	まとめ	
20 限	臓器移植	臓器移植技術の発達によって生じた問題	
21 限	〃	映画鑑賞	
22 限	〃	ディスカッション	
23 限	〃	ディスカッション	
24 限	〃	ディスカッション	
25 限	人生の最後に向けた備え	映画鑑賞	
26 限	〃	ディスカッション	
27 限	〃	ディスカッション	
28 限	〃	ディスカッション	
29 限	〃	講義のまとめ	
30 限	〃	レポート作成	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ターミナルケア論	教員名 菊池 要子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 これまで福祉の関心は生きることの援助に向けられてきたが、現在は死についての援助が求められている。この両者は不可分のものであり、死についての深い認識があつて初めて生に関する援助に対する確固たる根拠を持つことができる。介護はもちろんのこと、メンタル側面や家族に対する支えを含む広いケアを学ぶことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・福祉のターミナルケアの定義を理解する。 ・ソーシャルワーカーがターミナルケアに果たす役割を理解する。 ・市の受容過程を理解し、ターミナル期の支援方法を知る。</p> <p>【授業における達成課題】 ・ターミナルケアの概念と宗教的価値観の理解 ・生命との向き合いと倫理観の理解 ・ソーシャルワークとターミナルケアの関連性の理解</p>			
	使用教材	出版社	
	「ケアを問い直す」	筑摩書房	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
評価について：筆記試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 福祉施設における施設長			

科目名		科目時限総数	教員名
ターミナルケア論		15 限	菊池 要子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	講義のアウトラインを理解する	
2 限	ターミナルケアへの接近	医療・福祉現場におけるケアの意味を理解する	
3 限	福祉のターミナルケア	ターミナルケアの位置づけと展開方法を学ぶ	
4 限	医療現場のターミナルケア	〃	
5 限	政策としてのターミナルケア	ターミナルケアが政策としてどのようにかかわっているのか理解する	
6 限	死の恐怖について	〃	
7 限	医療現場のターミナルケア	医療現場におけるターミナルケアの位置づけを理解する	
8 限	否認と孤立	〃	
9 限	怒り	疾患を告知された後の行動の変容とその根拠を理解する	
10 限	否認と孤立	疾患の告知の場面にて、適切な説明と同意について考察できる	
11 限	取引	「治りたい」願望がどのような行動となって表現されるかを理解する	
12 限	抑うつ	死期が迫りゆく患者に対し、「価値ある生」への転換の過程を理解する	
13 限	受容	終活に代表される死を受容した患者の行動変容を理解する	
14 限	患者の家族	ターミナルケアに参加する患者のストレスや心理状況を把握し、家族への適切なケアを理解する	
15 限	ライフステージと死	家族、親族、友人それぞれの立場から死をとらえる価値観の相違を理解する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ボランティア活動論	教員名 中村 英治		
科目時間数: 30	時限	授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別: <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年: 3年次	開講時期: <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 ボランティア活動を、共に生きる社会参加の方法としてとらえ、現代社会のボランティア活動の意義と役割について考察する。及び専門職としてのボランティアコーディネーターの役割と基礎的な知識の習得を目標とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 1 ボランティア活動と現代社会 2 ボランティア活動が生み出す「人と人とのつながり」 3 ボランティア活動の広がり 4 ボランティア活動をとおして現代社会を展望する。 * 課題発表、グループワークを通して、ボランティアという「人間や環境を大切に活動」と企業の経済的な利益を優先する経済」と共生できる社会的視点を育てたい。</p> <p>【授業における達成課題】 ○「ボランティア」という言葉の意味、その思想と意味、その思想と活動、ボランティア活動の性格と役割を理解し、この活動が期待される背景を理解する。 ○ボランティア活動の意義、社会での役割、行政、企業との相違、パートナーシップ、活動上の課題、有償活動の議論等への自分の問題意識を明確にしていく。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	ボランティア論 「広がり」から「深まり」へ	(株)みらい 2010	
教員参考用	ボランティア ボランティアのすすめー基礎から実践まで 福祉ボランティア論 ボランティア・NPO用語辞典	岩波書店 1992 ミネルヴァ書房 2005	有斐閣 2007 中央法規出版 2004
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 児童相談所 特別支援学校 日本人学校 福祉サービス事業所 (精神障害、発達障害)			

科目名		科目時限総数	教員名
ボランティア活動論		30 限	中村 英治
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	①授業の位置づけを知る。自分の夢や希望とボランティアとの関わりを考える。	
2 限	〃	②アイスブレイクを実践する。 ③K J法を実践する。	
3 限	1ボランティアとは何か	④S S Tを知る。 ⑤ボランティアもう一つの情報社会（試験） 1なぜボランティアをするのか。 ①ボランティアの性格を4項目挙げるができる。 ②ボランティアの語源を説明できる。 ③ボランティアの意味を知る。	
4 限	〃	2なぜ「相手や世の中のため」に動くのか ①利他主義とその類似のことばをあげることができる。 ②バーネット夫妻について出身地や業績を説明できる。	
5 限	2ボランティア活動の現状と課題	3「私のため」もボランティアボランティアの目的と成果 ①あなたのためのボランティアの側面を説明できる。 ②私もいただくボランティアの側面を説明できる。 ③ボランティアの成果を説明できる。	
6 限	〃	4ボランティアは「お互いのため」－互酬と関係性 ①自分のためのボランティアは何かを説明できる。 ②互酬の考え方を説明できる。 ③ボランティアにおける他人と自分の関係性を説明できる。	
7 限	3ボランティアと現代社会	1ボランティア活動の現状と広がり ①社協が把握しているボランティアの人数と団体数を言える。 ②NPO法人数の全国の数と自分の出身県の数と言える。 ③NPO法人の活動分野の代表的な分野を3個以上言える ④ソーシャルキャピタルについて、説明できる。	
8 限	〃	2ボランティア活動の課題と動向 ①地縁型組織とテーマ型組織の相互関係を説明できる。 ②活動への参加希望と実際の活動参加の数を推測できる。 ③活動支援の地方自治体施策の動向を説明できる。 ④企業の社会貢献活動の意義を説明できる。	
9 限	4日本におけるボランティアの普及・推進の歩み	1ボランティアと現代社会を読み解く ①市民社会と共生文化の価値を説明できる。 ②生涯学習の歩みの基本と価値を説明できる。 ③NPO法、QOL、介護保険制度について説明できる。 ④ボランティア活動の構造化の基本ワードを言える。 2ボランティア活動と社会福祉協議会 ①善意銀行がいつ、どこで、誰がはじめたかを説明できる。 ②ボランティアセンターの広がりや行政施策の関係を大まかに説明できる。 ③全社協のボランティア活動支援の歩みを大まかに言える。 ④各地のボランティアセンターの主要施策を言える。	
		3ボランティア元年の意味すること ボランティア元年のうまれた契機を説明できる。 4「広がれボランティアの輪」連絡会議の意義 「いつでも、どこでも、誰でも、楽しく」を主張した団体について説明できる。	
		1大阪ボランティア協会の「想い」 大阪ボランティアの基本要綱の「民主主義」と「住民自治」について説明できる。 2民間ボランティア活動推進機関の胎動 ①さかえ隣保館、方面委員制度について説明できる。 ②ワークショップの由来と内容を説明できる。 ③参加システム、プロジェクトチームの目的を説明できる。 ④ワークキャンプ、VYS、BBS、ポラントピアのながれについて説明できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
10 限	5人と人とのかかわりー児童・障害者・高齢者ー	3 新しい市民社会創出に向けて ①阪神・淡路大震災の残したものについて説明できる。 ②ボランティアコーディネートについて説明できる。 CCC, 経団連1%クラブ、インターメディアリー、NPOの略語について説明できる。 ③企業社会貢献活動について、その意義を説明できる。 サステイナブル、コンプライアンス、フィンランソロピー、CSRについて説明できる。 ④ボランティア団体とNPO制度の関わりについて説明できる。
11 限	6地域社会のボランティア	1 人生を変える出会い ①社会環境の変化の具体例を3個以上あげることができる。 体験的学びとは何かを説明できる。 ②ソーシャルワーカーとは何かを説明できる。 ③施設の社会化について、バリアフリー、ノーマライゼーションについて説明できる。 2 人生を豊かにする ①ボランティアと自己実現の関係を説明できる。 ②ボランティアと年齢制限について、自分の意見を言える。 ③自己有用感と社会貢献意識について説明できる。 ④権利擁護とソーシャルアクションについて説明できる。
12 限	7環境とボランティア	3 ボランティア活動に期待される社会的役割 社会生活の7つの基本的要求(①家族的安定②職業的安定③経済的安定④保健・医療の保証⑤教育の保証⑥社会参加の機会⑦文化娯楽の機会)についてのべることができる。
13 限		1 地域福祉の推進の必要性が高まる中で ①身近な支え合いの内容として自助共助公助があり、それについて説明できる。 ②地域社会のボランティアセンターについて説明できる。 ③社会福祉協議会と専門職について述べることができる。 ④町内会、教育・学習、文化・伝承、自然環境保全、地域福祉について身近な取組をあげることができる。
14 限		2 地域社会を豊かにするボランティア活動事例 ①サロン活動と自治会活動について説明できる。 ②一人の思いをどう発展させるか、自分の考えを述べることができる。 ③住民のネットワークとミニボランティアセンターについて自分の考えを述べることができる。 3 これからの社会に必要とされる地域社会のボランティア ①集う場づくり ②仲間とネットワークづくり ③つなぐ力について 自分の意見を言うことができる。
15 限		1 個人から組織へ ヒト、もの、金、情報の必要性について、述べるができる。 2 グループ活動事始め 会合の定例化、機関紙、会費について、その意義と組織運営のコツを述べることができる。
16 限		3 テーマ型組織の運営 水平型運営、リスクの解決法、当事者との関係について述べることができる。 4 エリア型組織の運営 住民アンケート、地元購入、住民代表と共有について、その重要性を述べることができる。 5 人材育成 ①OJT, OFF-JT, SDについて説明できる。 ②啓発、人材養成、スキルアップの3つについて、その受講者数も含め説明できる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
17 限	8災害ボランティア	1 なぜ？いつから？どのように？災害ボランティア ①災害ボランティアの用語が生まれたきっかけを述べることができる。 ②災害ボランティアの多様な活動の内容を5個以上あげることができる。 ③地域特性による活動を2個以上あげることができる。 ④後方支援について説明できる。
18 限	”	2 誰のため？何のため？災害ボランティアセンター ①被災者本位の重要性を説明できる。 ②心得を3個以上あげることができる。 ③ボランティアセンターとコーディネーターの関係を説明できる。
19 限	9 国際ボランティア	1 国際ボランティアとは？ ①世界に向けたボランティアの意義を自分のことばで説明できる。 ②NGOについてその概要を説明できる。 ③「地球市民」の意義を述べることができる。 2 日本における国際ボランティアの背景と歴史 ①日本の大まかな歩みを述べるができる。 ②主な国際組織を3個以上挙げることができる。 3 国際ボランティア活動の中でのジレンマや問題 ①ジレンマ、問題について、2個以上説明ができる。 ②シンパシーとエンパシーの違いを述べるができる。 4 海外でのボランティア実践から 当たり前、発想、視野、次世代がキーカードになる理由を説明できる。 5 国際ボランティアの醍醐味 ①喜び、充実感、醍醐味が実感できることを知る。 ②楽しむためのアラカルトのを2～3個言える。
20 限	”	6 国際交流 同じ学園内で学ぶ中国、ベトナム、インドネシア等の留学生と交流し、社会、文化、生活習慣について、話し合い、物の見方考え方の違いを知り、違う文化の中でのボランティア活動の意義と役割を考察する。
21 限	10ボランティア学習	1 ボランティア学習の不確定性と豊かさ ボランティア学習の定義の概要を述べるができる。 2 教育力の低下が危ぶまれる時代において期待される役割 ①FE, NFE, IFEについて説明できる。 ②JYVA, CSV, SLについて説明できる。 ③デューイ、フレイレについてその業績を述べるができる。 3 新しい社会づくりに資するボランティア学習 エンパワメントについて、説明し、その意義を述べることができる。
22 限	”	4 ボランティア学習の成立環境・条件 ①イリイチの業績とオンブズパーソンについて説明できる。 ②正統的周辺参加の3条件を述べるができる。 5 持続可能な開発のための教育としての総合化の可能性 ESDの3条件について説明できる。
23 限	11ボランティア活動支援とボランティアコーディネーター	1 ボランティア活動の支援とは何か ①意欲と行動のギャップについて推測し、自分の考えを述べるができる。 ②想いと出会いをどのようにセットするか自分の考えを述べることができる。
24 限	”	2 ボランティアセンターとボランティアコーディネーター ①ボランティアセンターの活動支援の内容を6項目述べるができる。 ②コーディネーターの業務の類型を3項目述べることができる。

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
25 限	12ボランティア組織の運営	1 個人から組織へ ヒト、もの、金、情報の必要性について、述べることができる。 2 グループ活動事始め 会合の定例化、機関紙、会費について、その意義と組織運営のコツを述べることができる。 3 テーマ型組織の運営 水平型運営、リスクの解決法、当事者との関係について述べること できる。
26 限	〃	4 エリア型組織の運営 住民アンケート、地元購入、住民代表と共有について、その重要性を述べる ことができる。 5 人材育成 ①OJT, OFF-JT, SDについて説明できる。 ②啓発、人材養成、スキルアップの3つについて、その受講者数 も含め説明できる。
27 限	〃	NPO組織の立ち上げ 定款の作成
28 限	〃	福祉サービス事業所の運営規程作成 就労系事業所の運営規定の作成
29 限	13ボランティアの可能性と展望	1 ボランティアの可能性と展望 かかわり、出会い、つながりについて、自分のことばで説明でき る。 2 福祉の原点としてのボランティア 制度的保障と直接的市民参加の関係を説明できる。
30 限	14先人から学ぶボラ ンティア	1 連帯性と「事故にとっての不利益の選択」を問い直す 連帯と共生について、自分なりの考えを説明できる。 2 日本における「主体性」と互酬、双方向性 日本社会の特質、互酬、共同について、自分の考えを述べること ができる。 3 現代社会における「社会性」とボランティアの役割 その質、役割、公共性について自分の考えを述べる ことができる 4 まとめ

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報活用論A	教員名 阿部 修巳		
科目時間数 : 15 時限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 3年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの基本操作の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・WORD（ワープロ） 基本的な操作方法と実用的なドキュメントの作成</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、心理福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	WORD2013 基礎	FOM出版	
教員用	WORD2013 応用	FOM出版	
	WORD2013 ドリル	〃	
	WORD2013 演習問題集	〃	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 一般企業におけるエンジニア</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
情報活用論A		15	阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	第2章 文字の入力	タッチメソッド、文字や文章入力と日本語変換	
2 限	〃	〃	
3 限	第3章 文書の作成	タイピング練習、ビジネス文書の作成、文字を揃える、修飾する	
4 限	〃	〃	
5 限	第4章 表の作成	表の構造を変更、セルの結合と分割	
6 限	〃	表の書式の設定、表のプロパティの設定	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	第5章 文書の編集	色々な書式の設定、スタイルの登録、ヘッダー・フッターの作成……	
11 限	〃	〃	
12 限	第6章 表現力をアップする	図形の作成と書式の設定、図表の挿入、複数図形の組合せ……	
13 限	〃	〃	
14 限	文書作成練習	各種書式の組み込み、図形、写真等を挿入した文書作成	
15 限	確認試験	実技・知識的要素の確認	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報活用論B	教員名 阿部 修巳		
科目時間数 : 15 時限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 3年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの基本操作の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ EXCEL (表計算) 表計算ソフトの機能を理解し、操作技能を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、心理福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	WORD2013 基礎	FOM出版	
教員用	WORD2013 応用	FOM出版	
	WORD2013 ドリル	〃	
	WORD2013 演習問題集	〃	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 一般企業におけるエンジニア</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
情報活用論A		15	阿部 修巳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	データの入力	Excelの概要、データの種類、演算記号	
2 限	〃	データの種類、演算記号、基本操作	
3 限	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定	
4 限	〃	〃	
5 限	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照	
6 限	〃	関数（phonetic関数）、ふりがなの設定、ユーザ定義の表示形式	
7 限	表の印刷	ページ設定、印刷様式の設定、改ページ箇所の変更……	
8 限	複数シートの操作	作業グループの設定、3D集計……	
9 限	〃	〃	
10 限	グラフの作成	グラフ機能の概要、円グラフと棒グラフの作成……	
11 限	〃	〃	
12 限	データベース	並べ替えと抽出	
13 限	〃	〃	
14 限	ピボットテーブル 差し込み印刷	ピボットテーブルとピボットグラフの作成 差し込み印刷の設定と印刷	
15 限	確認試験	実技・知識的要素の確認	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 心理学	教員名 名古屋 恒彦		
科目時間数 : 30	限	授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 1年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 人の心や行動の特徴について明らかにするとともに、心や行動を理解・援助する方法について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 心の働きや特徴、個人差について多面的に解説する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の諸現象について説明できる ・心の個人差について説明できる 			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用	心理学と心理的支援	中央法規	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p> <p>【内容】 元特別支援学校校長</p>			

科目名		科目時限総数	時限	教員名
心理学		30		名古屋 恒彦
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	ガイダンス	心理学で学習する範囲と課題を理解する		
2 限	心理学の歴史	哲学からの発展過程を説明できる		
3 限	心理学の諸領域	対象現象によって心理学が及ぶ領域を理解する		
4 限	性格	パーソナリティについて、類型論や環境発達論の視点から理解する		
5 限	〃	〃		
6 限	〃	〃		
7 限	〃	〃		
8 限	〃	〃		
9 限	感情	感情のメカニズムを理解し、良好なストロークについて理解できる		
10 限	〃	〃		
11 限	〃	〃		
12 限	〃	〃		
13 限	欲求と動機付け	マズローの欲求階層と福祉臨床のかかわりを理解する		
14 限	〃	〃		
15 限	〃	〃		
16 限	感覚・知覚・認知	ピアジェの知覚認知理論を理解できる		
17 限	〃	〃		
18 限	学習と記憶	古典的条件付け・オペラント条件付けを説明できる		
19 限	〃	〃		
20 限	知能と思考	脳の働きと仕組みから、知能と思考の関連性を理解できる		
21 限	〃	〃		
22 限	集団とコミュニケーション	社会心理学が集団コミュニケーションに与える影響を知る		
23 限	〃	〃		
24 限	〃	〃		
25 限	ストレスと適応	フロイドの心理防衛機制の種類を理解する		
26 限	〃	〃		
27 限	心理療法	SSTや認知行動療法の効果を理解する		
28 限	〃	箱庭療法の効果を理解できる		
29 限	〃	カウンセリング療法の効果を理解できる		
30 限	まとめ	講義の内容を振り返り、到達点を確認する		

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会学と社会システム	教員名 菊池 裕生		
科目時間数 : 22.5 限 (45時間)	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 4年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 多様なまなざしで社会事象をとらえる目を養い、かつ、とらえどころの難しい「社会」をとらえる視点を身につけることで、多様で多層的な理解のもと様々な可能性を想定してニーズに対応できるソーシャルワーカーとなることを目指す。</p> <p>【心理福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 自己の理解及び他者を理解する力を育成する 2. 創造力・発信力・交渉力・実践力を育成する <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆることに対し興味を持ち、チャレンジする力を育成する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ①社会的なものを見方を理解する ②社会を「システム」として理解することを学ぶ ③現代のコミュニティーの特性を理解する ④ジェンダーについて学び、性差別について理解する ⑤カゾクとは何かをあらためて問い、その現代における実態を把握する ⑥少子高齢化にともなう人口減社会の実態とその影響について理解する</p> <p>【授業における達成課題】 ・多層的・多面的に社会を捉えられるようになる。 ・社会集団としてのコミュニティーの現代的特性について説明できるようになる。 ・ジェンダーが問いかける社会的・現代的な意味について自分なりの意見を持つ。 ・多様化する家族について視野を広げ、多角的に家族を支援できるようになる。 ・少子高齢化の要因を理解し、未来社会を思い描くことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
新社会福祉士養成講座	社会学と社会システム	中央法規出版	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 大学等での非常勤講師経験。			

科目名		科目時限総数	教員名
社会学と社会システム		22.5限	菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容(「できるように・わかるようになる」目標)	
1 限	イントロダクション	<ul style="list-style-type: none"> この科目を受講することで、何が分かり、何を身につけることができるのかの見通しがもてるようになる。 	
	第1回 社会学とは何か?	<ul style="list-style-type: none"> 「自明性」を疑うことによって、どんな利点があるのかを理解できるようになる。 演習を通し、自明性を疑うことの重要性を理解できるようになる。 	
2 限		<ul style="list-style-type: none"> 「現実」を多面的・多層的に見るとはどのようなことなのか、その意義とともに理解できるようになる。 目指す職業分野において、社会学を学ぶことが必要であることを理解できる。 達成度チェックを行い、本授業の最終到達目標の再確認を行う。 	
	第2回 社会学の分析対象	<ul style="list-style-type: none"> 社会学が、社会(集団)、自己、相互行為を具体的分析対象としていることを理解する。 	
3 限		<ul style="list-style-type: none"> 「社会」とはなにかを説明できるようになる。 理念型としての社会集団が備えている3つの特性を挙げられるようになる。 ウェーバーの行為の4類型をそれぞれ説明できるようになる。 社会、集団とは何かを説明できるようになる。 クーリー、テンニース、マッキーバーの集団類型をそれぞれ説明できるようになる。 現代のコミュニティの特性について説明できるようになる。 コミュニティ変容をめぐる3つの理論的立場をそれぞれ理解できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 自己とは何か、一言で説明できるようになる。 社会化とは何か、説明できるようになると同時に、その重要性を理解できるようになる。 なぜ社会を「システム」としてとらえるのか、その理由を説明できるようになる。 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	
5 限	第3回 現代社会はどのように成立したのか	<ul style="list-style-type: none"> 科学革命により、科学的・合理的思考へと変化していった過程を理解できるようになる。 市民革命により、民主主義国家が成立していった経緯を理解できるようになる。 産業革命により、第三次産業、資本家中心、の社会が形成されていったことを理解できるようになる。 	
6 限		<ul style="list-style-type: none"> 都市化した社会の特徴を一つ以上説明できるようになる。 コント、スペンサーの社会変動論をすべて列挙できるようになる。 デュルケームの社会変動論の類型を列挙し、その内容を説明できるようになる。 社会学者の唱える社会変動論の共通点を説明できるようになる。 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	
7 限	第4回 ジェンダーとは何か	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーの定義を暗唱できるようになる。 性差別の現状を、演習を通じ実感する。 性差別とは何かを説明できるようになる。 性差別が生じる要因を説明できるようになる。 	
8 限		<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティをめぐる問題について、一つ以上説明できるようになる。 性を分ける(「性別」を定める)ことが困難な社会になっていることを理解できるようになる。 	
9 限		<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるジェンダーの意味について自分なりの意見を持てるようになる。 達成度チェックテストにより、知識を定着させる。 	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容(「できるように・わかるようになる」目標)
10 限	第6回 現代社会の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本が人口減少社会であることを、データから理解できるようになる。 ・現在多くの道府県が「少産多死+流出超過」社会となっていることを、データから理解できるようになる。 ・日本の高齢化の特徴を説明できるようになる。
11 限		<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の現状をデータから理解した上で、少子化の原因を説明できるようになる。
12 限		<ul style="list-style-type: none"> ・消滅可能性都市の議論を参考に、必要とされる社会保障制度について自分なりの意見を持つ。 ・達成度チェックテストにより、知識を定着させる。
13 ～ 22 限	第5回 家族とは何か (2日間スクーリング)	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じ、「カゾク」を定義づける困難さに気づく。 ・「家族」と「世帯」の違いを説明できるようになる。 ・家族を「世帯」と捉えることによって見えてくる、日本の家族の現代的特徴を数値とともに説明できるようになる。 ・現代の家族のはらむ危険性について、世帯構成の変化から説明できるようになる。 ・「近代家族」の特徴三つを説明できるようになる。 ・現代家族の源流と言える「近代家族」以前の家族の様子を想像できるようになる。 ・家族の対社会的機能を説明できるようになる。 ・家族の対個人的機能4つをすべて挙げられるようになる。 ・家族が必要とされている理由を、対社会的側面、及び対個人的側面からそれぞれ説明できるようになる。 ・単婚家族に限定されない新しい家族の形について、自分なりの意見を持つ。 ・達成度チェックテストにより、知識を定着させる。
23 限	達成度テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験の実施

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医学知識	教員名 菊池 要子
科目時間数 : 15	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士としてソーシャルワーク、ケアマネジメント、地域ケアのコーディネーターにより医療職種との連携を強めるために医学に関する基本的知識を身に着ける</p> <p>【授業全体の内容の概要】 人の成長・発達と廊下を学び身体的精神的な変化の特徴を理解できる。また、身体構造と人体の解剖学・生理学が理解できる。</p> <p>【授業における達成課題】 疾病や心身の不自由さを持ちながら生活している方々をアセスメントでき、地域包括ケアシステムを活用した支援ができる。</p>	
	使用教材
学生用・教員用共通	人体の構造と機能及び疾病
	出版社 中央法規
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 福祉施設における施設長</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
医学知識		15	菊池 要子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	生命の誕生・身体の成長と発達段階を理解する	
2 限	老化	精神の成長と発達、老化の特徴を理解する	
3 限	身体の構造と疾病の概要	生活習慣病を理解し課題を見出し、悪性新生物を理解する	
4 限	〃	脳の解剖を理解し脳血管疾患について学ぶ	
5 限	〃	心臓の解剖を理解し心疾患と高血圧について学ぶ	
6 限	〃	口腔と消化器の解剖を理解し消化器疾患や肝臓・膵臓の働きを理解する	
7 限	〃	腎臓・泌尿器系の解剖と疾患について理解する	
8 限	〃	肺の解剖を理解し呼吸器疾患について理解する	
9 限	〃	骨・関節の解剖・骨折・関節疾患を理解する	
10 限	〃	感染症や皮膚疾患、神経疾患を理解する	
11 限	障害の概要	障害の概要（身体障害）を理解する	
12 限	〃	認知症について理解し、地域で支援する仕組みを考える	
13 限	〃	精神疾患や高次脳機能障害、終末医療を理解する	
14 限	ICFの概要	ICFの考え方を理解できる	
15 限	リハビリテーションの捉え方	リハビリテーションと健康の捉え方、健康日本21について理解する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 行政学	教員名 細田 重憲		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3	開講時期 : 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 高等学校で学ぶ歴史、とりわけ日本史で取り上げられる事柄を活用しながら、日本の行政について理解を深める。そして、現代社会で求められるコミュニケーション力の涵養に向け、本科目で学んだ行政や官僚の知識を活用することが期待される。また、法の形成や執行、憲法や社会福祉の法などに見える法的解釈について基礎的理解を深めていくことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・日本の行政の胴体について、官僚の視点から整理を試みる。 ・明治維新後の日本行政について理解する。 ・衛生行政や警察行政等、各論の行政領域について理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 ・医学等学術の「政務的運用」の基礎的な概念を理解できる ・高等文官試験など官僚のための制度を説明できる ・官僚の活動を支える人的資源や人材育成の過程を理解できる</p>			
	使用教材	出版社	
	『長与専齋』	長崎文献社	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 福祉行政職員</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
行政学		15 限	細田 重憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	講義のアウトラインを理解する	
2 限	長与専斎の衛生行政	明治維新後の衛生行政について理解する	
3 限	長与専斎の衛生行政	明治維新後の衛生行政について理解する	
4 限	健康保護事業	殖産興業時代の健康保護事業を理解する	
5 限	健康保護事業	殖産興業時代の健康保護事業を理解する	
6 限	コレラの流行と対策	世界的な感染症に対し、限られた資源の中での対策の難しさを理解する	
7 限	健康保護事業拡張	近代日本の健康保護事業の拡充の過程を理解する	
8 限	住民との連携	自由放任主義における住民の健康問題と官民連携を理解する	
9 限	健康保護事業拡張	近代日本の健康保護事業の拡充の過程を理解する	
10 限	官民協調論	日本官僚論に基づき、医療や衛生の仕組みがいかにして形成されたのかを理解する	
11 限	官民協調論	日本官僚論に基づき、医療や衛生の仕組みがいかにして形成されたのかを理解する	
12 限	官民協調論	日本官僚論に基づき、医療や衛生の仕組みがいかにして形成されたのかを理解する	
13 限	専斎と西洋医学	専斎が岩倉遣外使節団に随行して得られた学びを理解する	
14 限	専斎とその家族	家族が専斎の衛生事業の拡大を後押しした背景を理解し、支援者を支える家族の心理を理解する	
15 限	専斎と西洋医学	専斎が岩倉遣外使節団に随行して得られた学びを理解する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 課題研究 I	教員名 菊池 裕生		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 テキスト・サブテキストの熟読を通し、各自研究テーマを設定しレポート作成の土台となる論文を作り上げることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 1冊のメインテキスト、3冊のサブテキストを熟読し、仮説を立て検証する思考過程を重要視する。また、基本的な読解力を養っていくため、文献を読むことに慣れることからスタートとなる。</p> <p>【授業における達成課題】 自らが立てた仮説を筋道立てて検証できているか</p>			
	使用教材	出版社	
	適宜指示する		
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 大学の非常勤講師</p>			

科目名 課題研究 I		科目時限総数 15 限	教員名 菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	講義の進め方	
2 限	文献選択	自ら興味のあるテーマに対し、適切に文献を選択できる	
3 限	〃	〃	
4 限	仮説	テーマに対する仮説を立て、実証するための見立てを持つことができる	
5 限	〃	〃	
6 限	序論	序論の作成方法を理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	本論	本論の作成方法を理解する	
9 限	〃	〃	
10 限	結論	結論の作成方法を理解する	
11 限	〃	〃	
12 限	製本	レポートを製本する	
13 限	〃	〃	
14 限	添削	最終添削を受け、課題研究Ⅱへの課題を抽出できる	
15 限	提出	レポート提出・フィードバック	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 課題研究Ⅱ	教員名 菊池 裕生	
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 課題研究Ⅰで取り上げた課題をもとに、テキスト・サブテキストの熟読を通し、課題解決型のレポート土台となる論文を作り上げることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 1冊のメインテキスト、3冊のサブテキストを熟読し、仮説を立て検証する思考過程を重要視する。また、基本的な読解力を養っていくため、文献を読むことに慣れることからスタートとなる。</p> <p>【授業における達成課題】 自らが立てた仮説を筋道立てて検証できているか</p>		
	使用教材	出版社
	適宜指示する	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 大学の非常勤講師</p>		

科目名 課題研究Ⅱ		科目時限総数 15 限	教員名 菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	課題研究Ⅱ	
2 限	文献選択	自ら興味のあるテーマに対し、適切に文献を選択できる	
3 限	〃	〃	
4 限	仮説	テーマに対する仮説を立て、実証するための見立てを持つことができる	
5 限	〃	〃	
6 限	序論	序論の作成方法を理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	本論	本論の作成方法を理解する	
9 限	〃	〃	
10 限	結論	結論の作成方法を理解する	
11 限	〃	〃	
12 限	製本	レポートを製本する	
13 限	〃	〃	
14 限	添削	最終添削を受け、課題研究Ⅱへの課題を抽出できる	
15 限	提出	レポート提出・フィードバック	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉概論	教員名 畠山 修
科目時間数 : 31 限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択	配当学年 1年 開講時期 : <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉の概要、仕組み、役割、制度について理解する。そして歴史的流れから社会福祉の必要性を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 社会福祉の歴史・制度・社会保障との関連をテキストと講師の実体験を織り交ぜながら解説する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉政策とその背景にある思想・哲学を理解する ・ 現代社会における福祉政策の意義を理解する ・ 社会福祉の発展と現在の動向を理解する 	
	使用教材
学生用・教員用	現代社会と福祉
	出版社
	中央法規
【使用教室】	
<u>1. HR</u>	2. 介護実習室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
3. 家政実習室	7. その他 ()
4. 視聴覚室	
【評価方法】	
<u>1. 筆記試験</u>	<u>2. レポート</u>
5. 実技試験	6. その他 ()
3. 出席	<u>4. 授業態度</u>
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無	
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー職	

科目名		科目時限総数	教員名
社会福祉概論		31 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	社会福祉の視点と枠組み	社会福祉・福祉政策・社会政策の位置づけを学ぶ	
2 限	〃	〃	
3 限	社会の変化と福祉	伝統社会から近代社会への歴史的変遷を学ぶ	
4 限	〃	福祉国家体制の成立までの流れを学ぶ	
5 限	〃	現代社会の人口、労働、家族の変化を理解する	
6 限	〃	福祉政策の現代的課題を理解する	
7 限	福祉の思想と哲学	市場の倫理と論理について理解する	
8 限	社会福祉と社会政策	慈善事業の発展過程を理解する	
9 限		社会事業の発展過程を理解する	
10 限		社会福祉の発展過程を理解する	
11 限		雇用と所得保障について理解する	
12 限		社会サービスについて理解する	
13 限		戦後改革と高度経済成長期の福祉政策を学ぶ	
14 限		福祉三法から福祉六法体制への変化を理解する	
15 限		1970年代の福祉政策について理解する	
16 限		少子高齢化時代の福祉政策を理解する	
17 限		社会福祉基礎構造改革について理解する	
18 限		社会資源と福祉政策資源の配分システムを学ぶ	
19 限		政策評価過程と政策評価について学ぶ	
20 限	まとめ	スクーリングへの準備	
21 限	中部学院大学スクーリング	社会福祉の発展過程と成立	
22 限			
23 限			
24 限			
25 限			
26 限			
27 限			
28 限			
29 限			
30. 31 限			

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
社会保障論	熊谷 雅順
科目時間数 : 31	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 4年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 現代社会における社会保障制度の課題を明確にし、社会保障の概念や田尾翔、及びその理念等について発達過程も含めて理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 現代社会における社会保障制度の課題をや概念を学び、社会保障の財源と費用、社会扶助との関係や介護保険制度をはじめとした我が国の社会保障について概観する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について精神保健福祉士が行う相談援助に必要な知識と技術を習得する</p>	
	使用教材
学生用・教員用	社会保障
	出版社
	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 社会福祉士事務所におけるソーシャルワーカー</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
社会保障論		31 限	熊谷雅順
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	社会保障の視点と枠組み	社会保障と社会福祉の関連性を理解する	
2 限	〃	〃	
3 限	社会保障とライフサイクル	乳幼児期のライフサイクルと社会保障の関連性を理解する	
4 限	〃	学童期におけるライフサイクルの課題と社会保障の関連性を理解する	
5 限	〃	青年期・成人期におけるライフサイクルの課題と社会保障の関連性を理解する	
6 限	〃	壮年期・老年期におけるライフサイクルの課題と社会保障の関連性を理解する	
7 限	社会福祉と社会保障制度	障害基礎年金は当事者が社会生活を営む上でどのような役割を果たしているのかを知る	
8 限	〃	雇用保険と労働者の関連性を理解する	
9 限	〃	生活保護制度を理解し、セーフティネットが果たす役割を理解する	
10 限	〃	公的年金制度を理解し、少子高齢化時代の社会保障の課題を理解する	
11 限	〃	事例検討（生活保護制度）	
12 限	〃	事例検討（障害基礎年金・障害厚生年金）	
13 限	〃	事例検討（介護保険サービスを利用した支援）	
14 限	諸外国の社会保障制度	アメリカやイギリスの社会保障制度を概観し、各国のセーフティネットを理解する	
15 限	〃	〃	
16 限	社会保障と政策	社会保障費と政策の関連性を理解する	
17 限	〃	〃	
18 限	社会保障の発展過程	戦前から現在まで、どのような意図のもとに社会保障制度が発展したのか理解する	
19 限	〃	〃	
20 限	まとめ	スクーリングへの準備	
21 限	中部学院大学スクーリング	社会福祉の発展過程と成立	
22 限			
23 限			
24 限			
25 限			
26 限			
27 限			
28 限			
29 限			
30. 31 限			

科目名		科目時限総数	教員名
障害福祉制度論		15 限	中部学院大学講師
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	中部学院大学学習要綱に準拠	中部学院大学学習要綱に準拠	
2 限			
3 限			
4 限			
5 限			
6 限			
7 限			
8 限			
9 限			
10 限			
11 限			
12 限			
13 限			
14 限			
15 限			

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 地域福祉論	教員名 坂口 繁治
科目時間数 : 31	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 2000年の社会福祉法の制定により、地域福祉が社会福祉の中心に据えられ「地域福祉の主流化」が命題となっていることを学び、身近な生活圏で発生する孤独死や引きこもり、限界集落などの属性を超えた生活課題、施設・病院から地域移行への課題などにおいて、地域福祉の視点でとらえ考えることをねらう。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 地域福祉の歴史的な展開、イギリス、アメリカの理論と実践、今日の日本の行政と住民と住民が求める福祉サービスの評価の在り方について触れる。</p> <p>【授業における達成課題】 今日的な生活課題における地域福祉の理念・内容と意義、住民組織の種類と役割、住民における活動や地域におけるサポートネットワーク構築の意義を理解し、地域福祉推進のコミュニティソーシャルワーカーの役割を理解することができる</p>	
	使用教材
出版社	
学生用・教員用	「地域福祉の理論と方法」
	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 社会福祉士事務所におけるソーシャルワーカー</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
地域福祉論		31 限	坂口 繁治
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけを理解する	
2 限	福祉のメインストリーム	なぜ地域福祉を学ぶのか	
3 限	新しい社会福祉システム	地域福祉の発展過程	
4 限	〃	DVD[プロフェッショナル勝部麗子]	
5 限	〃	地域福祉の発展過程②	
6 限	〃	行政と住民の協働による新しい福祉としての地域福祉	
7 限	〃	事例紹介「孤独死ゼロ」作戦	
8 限	〃	新しい生活に対応する地域福祉	
9 限	〃	新しい生活サービスとしての地域福祉	
10 限	〃	福祉コミュニティの考え方と地域福祉の主体形成	
11 限	日本の地域福祉に影響を与えた外国の制度	イギリス・アメリカの地域福祉の考え方	
12 限	地域福祉の基本的な考え方	地域福祉理論の展開と広がり	
13 限	コミュニティ・ソーシャルワークと専門職	コミュニティ・ソーシャルワークの考え方	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	コミュニティ・ソーシャルワークの展開とシステム	
16 限	〃	コミュニティ・ソーシャルワークの方法	
17 限	〃	多職種連携のチームアプローチ	
18 限	住民の参加と方法	専門職と住民参加	
19 限	〃	市町村社会福祉行政における住民参加	
20 限	まとめ	住民の代表性と参加方法	
21 限	中部学院大学スクーリング	地域福祉の理論と展開	
22 限			
23 限			
24 限			
25 限			
26 限			
27 限			
28 限			
29 限			
30. 31 限			

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ソーシャルワークの基盤と専門職	教員名 畠山 修		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 我が国のソーシャルワーカー職の成立からグローバル定義を概観し、我が国における社会福祉専門職制度の内容を知ることによってソーシャルワーカーとしてのアイデンティティを形成して浮くことを目的とする</p> <p>【授業全体の内容の概要】 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士ともに社会状況の変化やそれに伴うニーズの高まりによって制定された。社会福祉主事の時代から現在に至るまで、業務独占ではないものの、業務の専門性の高さがそれをカバーしている。広義のソーシャルワーカーの意味から競技の意味、その役割を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職養成課程の特徴を理解する ・ ソーシャルワークのグローバル定義を理解する ・ 人と環境の相互作用に焦点を充てた利用者理解ができる 			
	使用教材	出版社	
学生用	ソーシャルワークの基盤と専門職	中央法規	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 障害者職業カウンセラーとして精神障害者・発達障害者の就労支援</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
ソーシャルワークの基盤と専門職		15 限	島山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	科目の特徴と福祉専門職の位置づけを理解する	
2 限	ソーシャルワーカーとは	国家資格とソーシャルワーカーの関連性を理解する	
3 限	ソーシャルワーカーとは	国家資格とソーシャルワーカーの関連性を理解する	
4 限	社会福祉士及び介護福祉士法	士士法が成立した社会的背景及び両専門職のフィールドを学ぶ	
5 限	精神保健福祉士	精神保健福祉士法を概観し、精神科ソーシャルワークの役割と意義を学ぶ	
6 限	ソーシャルワークの倫理	ソーシャルワークの価値・倫理を通してソーシャルワーク専門職の概要を学ぶ	
7 限	多職種連携	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、多職種連携の意義と内容を学ぶ。	
8 限	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの概念及び形成過程、基盤となる考え方を学ぶ	
9 限	ソーシャルワークの倫理	ソーシャルワークの価値・倫理を通してソーシャルワーク専門職の概要を学ぶ	
10 限	ソーシャルワークの規模	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークを学ぶ	
11 限	多職種連携	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、多職種連携の意義と内容を学ぶ。	
12 限	ソーシャルワークの対象	福祉ニーズを持つ人々と環境の接点を捉える視点を学ぶ	
13 限	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの概念及び形成過程、基盤となる考え方を学ぶ	
14 限	グローバル定義	IFSW及びIASSWによって改訂された定義を理解し、国際的なSW視点を学ぶ	
15 限	ソーシャルワークの規模	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークを学ぶ	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会福祉調査の基礎		教員名	菊池 裕生	
科目時間数 :	15 限		授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	2年	開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会調査の基礎的知識・技術を学び、実践できるようになることを目的とする。</p> <p>【心理福祉学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. 自己の理解及び他者を理解する力を育成する</p> <p>2. 創造力・発信力・交渉力・実践力を育成する</p> <p>③. あらゆることに対し興味を持ち、チャレンジする力を育成する</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会調査の意義。 ・ 社会調査の種類と方法。 ・ 社会調査の実際。 <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉になぜ社会調査の知識や技術が必要とされるかを理解する ・ 量的調査の流れを理解し、実際に調査できるようになる ・ 演習を通じて質的調査の流れを理解し、実際に調査できるようになる 					
	使用教材		出版社		
	社会福祉調査の基礎		中央法規出版		
【使用教室】					
<p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>					
【評価方法】					
<p>①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>					
【備考】					
<p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>					
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無					
【内容】 大学等での非常勤講師経験					

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉調査の基礎		15 限	菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1, 2 限	イントロダクション	<ul style="list-style-type: none"> この科目を受講することで、何が分かり、何を身につけることができるのかの見通しがもてるようになる。 	
	第1回 社会調査・社会福祉調査とはなにか	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査・社会福祉調査の概要（定義）を理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
3, 4 限	第2回 社会調査の種類と流れ	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査には、大きく分類して「量的調査」と「質的調査」があることを理解できるようになる。 社会調査の流れを大まかに理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
	第3回 量的調査の特徴と種類	<ul style="list-style-type: none"> 全数調査と標本調査の違いを説明できるようになる。 「母集団」、「標本」、「抽出」それぞれの言葉の意味を説明できるようになる。 無作為抽出法を実践できるようになる。 無作為抽出には5つの方法があることを理解し、どのような場合にいずれの抽出法を選択すればよいのか、答えられるようになる。 	
5~7 限		<ul style="list-style-type: none"> 横断調査と縦断調査の違いを説明できるようになる。 縦断調査のうち、動向調査、パネル調査、コーホート調査の違いを説明することができるようになる。 「自計式」と「他計式」の違いを説明できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
	第4回 量的調査の実際 ①調査票の作成	<ul style="list-style-type: none"> 概念の明確化・操作化の意味を理解し、実践できるようになる。 仮説の意味を理解し、演習を通し仮説が立てられるようになる。 	
8, 9 限		<ul style="list-style-type: none"> 質問項目を作成する上で注意しなければならない点があることを理解できるようになる。 「キャリアオーバー効果」「ダブルバーレル質問」について説明できるようになる。 選択肢の設定方法を理解し、どういった場合にどの方法を採用すればよいかおおよそ判断できるようになる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 4つの尺度の違いを説明できるようになる。 選択肢を作成する上で注意しなければならない点があることを理解できるようになる。 フェイスシートとは何かを理解し、演習を通し作成することができるようになる。 調査協力お願い文を作成できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
10, 11 限	第5回 量的調査の実際 ②調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 調査実施の方法について、それぞれのメリット・デメリットを理解し、仮に自分が実施しようとしている調査の場合に、どの方法が最も適切であるかをおおよそ判断できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
12, 13 限	第6回 量的調査の実際 ③データの集計	<ul style="list-style-type: none"> データクリーニングの方法を理解できるようになる。 度数分布表、クロス集計表を実際に作成できるようになる。 表の種類を学び、それぞれどういった結果を表すのに適しているのかを理解できるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
14 限	第7回 代表値と調査倫理	<ul style="list-style-type: none"> 標本平均、中央値、最頻値の意味を理解できるようになると同時に、エクセル上で算出できるようになる。 社会調査を行うものの倫理について、特に大切な点を2点挙げることができるようになる。 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	
15 限		<ul style="list-style-type: none"> 達成度チェックテストを行い、知識を定着させる。 	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 権利擁護と成年後見制度	教員名 関谷 揚子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 介護保険の発足と同時に導入されたこの制度は、それまでの禁治産制度からの脱却が一つの目的であった。近年増加傾向の認知症高齢者にも多く利用してほしいと考えられる。今後多くの人たちに利用されるよう、福祉の専門職を目指す学生は習熟してほしい。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 この制度の土台となる日本国憲法、民法、行政法の知識の習得、この制度が日本の社会全体を支えていく体制となるよう権利擁護に関連する団体の存在、新しい動きにも目を向けたい。</p> <p>【授業における達成課題】 制度の熟知を図り、この制度の利用を進めていけるように現在の問題点についても考察する</p>	
	使用教材
学生用	権利擁護と成年後見制度
	出版社
	中央法規出版
【使用教室】	
1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】	
1. <u>筆記試験</u> 2. レポート 3. <u>出席</u> 4. <u>授業態度</u> 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無	
【内容】 司法機関における職員	

科目名		科目時間総数	教員名
権利擁護と成年後見制度		15 限	関谷 揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	相談援助活動と法律	日本国憲法の理解	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	行政法の理解	
5 限	〃	民法の理解	
6 限	成年後見制度	制度の理解	
7 限	〃	制度の種類、申し立ての流れ	
8 限	〃	法定後見制度と任意後見制度	
9 限	〃	後見人の義務と責任について	
10 限	〃	制度の最近の動向、課題について考える	
11 限	権利擁護に関わる組織・団体・専門職	それぞれの役割を知る	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	活動の実際	事例について考える	
15 限	課題に向き合う	レポート内容について	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 刑事司法と福祉	教員名 関谷 揚子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士の役割において、家族歴や生活歴を含めた一人の人間として理解しなければは犯罪の再犯防止や社会復帰へ導くことは難しい。精神保健福祉士が「被告人」とされた人たちに対し、権利擁護の視点に基づいて私法ソーシャルワークを実践するための知識・技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 地方検察庁、刑務所、更生保護施設など、司法関連施設は多岐にわたる。また、検事や弁護士など多職種との連携が特に重要となることを踏まえて講義を展開する。</p> <p>【授業における達成課題】 支援者として司法に携わることの意義をつかむこと。</p>	
	使用教材
学生用	刑事司法と福祉
	出版社
	中央法規出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. <u>筆記試験</u> 2. レポート 3. <u>出席</u> 4. <u>授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p>	
<p>【内容】 司法機関における職員</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
刑事司法と福祉		15 限	関谷 揚子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	社会と犯罪	社会と犯罪のつながりを理解する	
2 限	刑罰とは何か	刑法の仕組みを知る	
3 限	刑事司法	刑事司法が生活にどのように役立っているかを知る	
4 限	少年司法	少年法とのかかわりから、少年司法を考える	
5 限	施設内処遇	少年院や矯正施設における処遇を理解する	
6 限	更生保護	更生保護の理念と実際を理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	医療観察制度	医療観察制度を理解し、精神科病院との連携を知る	
9 限	〃	〃	
10 限	高齢者の犯罪	高齢期の心理的・社会的背景から犯罪との関連を考える	
11 限	障害者の犯罪	障害者の心理的・社会的背景から犯罪との関連を考える	
12 限	少年の犯罪	少年法の仕組みと少年犯罪、更正のための支援方法を知る	
13 限	依存症者の犯罪	薬物依存やギャンブル依存が引き起こす犯罪を理解する	
14 限	犯罪被害者支援	被害者支援制度や救済制度を理解し、被害者に寄り添うケアを考える	
15 限	コミュニティと刑事司法	地域の警察署や裁判所は地域にとってどのような位置づけなのか知る	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神医学	教員名 阿部 真之		
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の全体像や個別の疾患について学ぶ ・精神疾患の診断や治療法について学ぶ <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の診断について ・精神疾患の症状について ・精神疾患の治療について <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の症状について説明ができる。 ・精神疾患の診断と治療法について説明ができる。 			
	使用教材	出版社	
	精神保健福祉士養成セミナー1 「精神詩学—精神疾患とその治療」第6版	へるす出版	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 児童精神科および精神科の医療機関、学校現場における臨床経験。			

科目名		科目時限総数	教員名
精神医学		30 限	阿部 真之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション 精神医学の歴史	西洋と日本における精神医学の歴史を理解する	
2 限	脳および神経の解剖 生理	脳の構造を理解する。神経系の発生、構成を理解する。	
3 限	脳および神経の解剖 生理	中枢神経について理解する	
4 限	脳および神経の解剖 生理	末梢神経系を理解する	
5 限	精神医学の概念	用語の定義を理解する。	
6 限	精神医学の概念	精神医学の方法と鍵概念について理解する。	
7 限	精神医学の概念	精神医学の領域を理解する	
8 限	精神医学の概念	精神障害の分類を理解する	
9 限	精神医学の概念	診断の手順と方法を理解する。面接における問診について理解する。	
10 限	精神医学の概念	面接における問診についての理解を深める。精神症状を理解する。	
11 限	精神医学の概念	精神症状の状態像について理解する。身体検査と心理検査について理解する。	
12 限	精神医学の概念	神経学的診断法を理解する。心理検査を理解する。	
13 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	構造化面接と操作的診断基準を理解する。 症状性を含む器質性精神障害を理解する。	
14 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	精神作用物質使用による精神および行動の障害について理解する	
15 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	統合失調症を理解する	
16 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	気分障害を理解する	
17 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害を理解する	
18 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	生理的障害、行動症候群を理解する。成人のパーソナリティおよび行動の障害を理解する	
19 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	知的障害を理解する。発達障害を理解する。	
20 限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	小児期および青年期における行動、情緒の障害を理解する。神経系の疾患を理解する。	
21 限	精神疾患の治療	身体両方を理解する。精神療法の定義や介入方法を理解する。	
22 限	精神疾患の治療	精神療法の技法や治療関係を理解する。さまざまな精神療法を理解する。	
23 限	精神疾患の治療	さまざまな精神障害リハビリテーションを理解する	
24 限	病院精神医療と地域 精神科医療	病院精神医療の現状と課題を理解する	
25 限	病院精神医療と地域 精神科医療	精神科病院におけるチーム医療と精神保健福祉士の役割を理解する	
26 限	病院精神医療と地域 精神科医療	精神科救急医療について理解する。地域精神医療の展開を理解する。 精神医療と福祉の連携について理解する	
27 限	精神医学における人 権	精神科医療機関と患者の人権について理解する。インフォームドコンセントについて理解する。精神医療における人権擁護の理解を深める。	
28 限	司法精神医学	司法精神医学について理解する	
29 限	司法精神医学	司法精神医学におけるリスクや危機介入について理解する。	
30 限	まとめ	全体を振り返り、精神疾患の症状、精神疾患の診断と治療法について理解を深める	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神保健学	教員名 阿部 真之		
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健の基礎知識を習得するために精神保健の概要を学び、精神保健の意義と課題について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ ライフサイクルにおける精神保健 ・ 精神保健活動の実際について ・ 精神保健福祉士の役割 ・ 精神保健に関わる専門職種との連携について</p> <p>【授業における達成課題】 ・ ライフサイクルにおける精神保健に関わる問題と、その対策について説明ができる。 ・ 精神保健に関わる地域の活動がどのように成り立っているか、その仕組みについて説明ができる。 ・ 精神保健に関わる専門職種間の連携について説明ができる。</p>			
	使用教材	出版社	
	精神保健福祉士養成セミナー2 「精神保健学—精神保健の課題と支援」第6版	ヘルス出版	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 児童精神科および精神科の医療機関、学校現場における臨床経験。			

科目名		科目時間総数	教員名
精神保健学		30 限	阿部 真之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	現代社会と精神保健について理解する。	
2 限	精神保健の基礎	精神保健について理解する。精神保健の意義と課題を理解する。	
3 限	ライフサイクルにおける精神保健	乳幼児期における精神保健を理解する。学童期における精神保健を理解する。	
4 限	ライフサイクルにおける精神保健	思春期における精神保健を理解する。青年期における精神保健を理解する。	
5 限	ライフサイクルにおける精神保健	青年期における精神保健を理解を深める。成人期における精神保健を理解する。	
6 限	ライフサイクルにおける精神保健	成人期における精神保健を理解を深める。老年期における精神保健を理解する。	
7 限	ライフサイクルにおける精神保健	老年期における精神保健を理解を深める	
8 限	精神保健における個別課題への取り組み	精神障害対策について理解する。認知症対策について理解する。認知症対策の理解を深める。	
9 限	精神保健における個別課題への取り組み	アルコール関連問題対策を理解する。薬物乱用防止対策を理解する。	
10 限	精神保健における個別課題への取り組み	物質関連問題に関する理解を深める。思春期・青年期精神保健対策を理解する。	
11 限	精神保健における個別課題への取り組み	思春期・青年期精神保健対策の理解を深める。地域精神保健対策を理解する。	
12 限	精神保健における個別課題への取り組み	地域における「こころの健康づくり」の動向について理解する。司法精神保健福祉対策を理解する。	
13 限	精神保健における個別課題への取り組み	緩和ケアと精神保健を理解する。緩和ケアと精神保健についての理解を深める。	
14 限	精神保健活動の実際	家庭における精神保健を理解する。家庭における精神保健の理解を深める。	
15 限	精神保健活動の実際	学校における精神保健を理解する。学校における精神保健の理解を深める。	
16 限	精神保健活動の実際	職場における精神保健を理解する。職場における精神保健の理解を深める。	
17 限	精神保健活動の実際	地域における精神保健を理解する。地域における精神保健の理解を深める。	
18 限	地域精神保健の現状と課題	地域精神保健施策の発展と経緯を理解する。地域精神保健活動の実際について理解する。	
19 限	地域精神保健の現状と課題	地域保健・地域精神保健に係る関係法規・関係施策を理解する。	
20 限	地域精神保健の現状と課題	地域保健・地域精神保健に係る関係法規・関係施策を理解する	
21 限	地域精神保健の現状と課題	精神保健福祉に関する調査研究を理解する	
22 限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	メンタルヘルスにおける精神保健福祉士の役割を理解する。認知症領域における精神保健福祉士の役割を理解する。	
23 限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	自殺対策における精神保健福祉士の役割を理解する。スクールソーシャルワーカーにおける役割を理解する。	
24 限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	さまざまな領域における精神保健福祉士の役割を理解する。メンタルヘルスにおける精神保健福祉士の役割について理解を深める。	
25 限	精神保健に関わる専門職種と役割と連携	国および行政機関の役割を理解する。各種行政機関の役割について理解を深める。	
26 限	精神保健に関わる専門職種と役割と連携	保健専門職の役割について理解する。精神保健における連携のあり方について理解する。	
27 限	精神保健に関わる専門職種と役割と連携	精神保健に関わる専門職種の役割と連携について理解を深める	
28 限	世界の精神保健	世界の精神疾患の疫学について理解する。WHOなどの国際機関の活動を理解する。諸外国の精神保健医療の実情を理解する。	
29 限	世界の精神保健	世界の精神保健について理解を深める	
30 限	まとめ	振り返りを通して、ライフサイクルにおける精神保健が関わる問題と対策、精神保健に関わる地域の仕組み、専門職種間の連携について理解を深める	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神障害リハビリテーション論	教員名 攝待 幸子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①精神保健福祉の歴史から人権について学び、精神障害リハビリテーションの理念を理解する。 ②精神障害リハビリテーションのプログラムの内容とその展開を理解し、精神保健福祉士の役割を修得。 ③精神障害リハビリテーション構成及び展開の中から精神保健福祉士の専門性を修得。 ④精神障害リハビリテーションが地域の中で生かされているかを理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>①精神障害を対象とした相談援助 ②精神科リハビリテーションの概念と構成、精神科リハビリテーションのプロセス、技法、及び連携について学習する。 ③精神障害者のためのリハビリテーションの基礎と実施機関の臨床的技法と地域の中の精神科リハビリテーションを学習する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>①「障害とは何か」をしっかりと理解する ②日本諸外国の歴史を理解し現実を捉えることができる。 ③精神障害リハビリテーションの理念、意義と基本原則を理解し、精神障害者リハビリテーション支援者としてを効果的に実施できるかを身につける。 ④医学的リハビリテーション、職業的リハビリテーション、教育的リハビリテーション、社会的リハビリテーション、プログラムを学び、専門職としての臨床的身につける。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	①新カリキュラム教科書「精神障害リハビリテーション論」、②新・精神保健福祉士養成講座4 (コピー)	①②中央法規出版	
教員参考書	①上記②図説精神障害リハビリテーション③精神保健福祉におけるリハビリテーション	②中央法規出版③へるす出版	
【使用教室】			
①. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 (前期と後期テスト実施)		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 精神保健福祉士として医療機関、大学非常勤講師としての経験あり。			

科目名		科目時間総数	教員名
精神障害リハビリテーション論		15 限	攝 待 幸 子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	精神科リハビリテーションの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科リハビリテーション学は何故必要なのか？教科所には何が書かれているか？ ・定義・脳の成り立ち・自己理解 	
2 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科リハビリテーションの各定義を理解する ・ノーマライゼーション、インクルージョン、インテグレーションを理解する 	
3 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科リハビリテーションの理念各定義を理解する ・ノーマライゼーション、インクルージョン、インテグレーションを理解する 	
4 限	精神保健福祉の歴史と動向	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健医療福祉の歴史を学び人権を理解する（日本、米、仏、伊、新、韓、英、加）。 	
5 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄の精神保健福祉の歴史」と沖縄本土復帰と日本の制度を理解する。 	
6 限	・ICD-10、ICIDH、ICF	<ul style="list-style-type: none"> ・ICD) -10の大分類特に、「F」コード精神疾患の中分類を理解する。 ICDの補助から生まれたICIDHからICDの変遷と特徴を学び理解する 	
7 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICDコードその活用を理解する ・ICFの分類法を学び理解する ・ICFの基本概念（生活機能と潜在能力）マルテア・センについて理解する。 	
8 限	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの活用方法（個別支援等） ・我が国の精神科リハビリテーションの展開を理解する ・精神科リハビリテーションと精神障害リハビリテーションの違いを理解する。 ・ソーシャルワークの国際的定義を学習し、精神障害リハビリテーションを理解する。 ・精神障害リハビリテーションの構成要素を理解する ・構造的障害について理解を深める 	
9 限	同 上		
10 限	精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションとリハビリとの関係 ・精神障害者リハビリテーションの原理（リハビリ基盤）を理解する。 ・ストロングス・エンパワメント・リハビリを理解する 	
11 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害リハビリテーションの特性と共通する原則を理解する ・医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションを理解する。 ・地域及びリハビリ概念を基盤としたリハビリテーションの意義を 	
12 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の種類と特徴を理解する ・チームアプローチ（医療機関と地域の中のチーム）を理解する ・多職種アウトリーチ（ACT）を理解する 	
13 限	精神障害リハビリテーションの構成及び展開	<ul style="list-style-type: none"> ・対象、障害、定義、特性（ICF、ICD）を再度理解する ・チームアプローチの概観と方法を理解する 	
14 限	同 上	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチと精神保健福祉士の役割を考える ・チームアプローチの類型、長所・短所、影響する要因を理解する ・他専門職の理解 	
15 限	精神障害リハビリテーション	再度振り学習（前期テスト）	

授 業 計 画 表

心理福祉学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	精神保健福祉の原理	教員名	山館 幸雄
科目時間数:	30 限	授業の種類:	講義・演習・実習
必修・選択の別:	必修・選択	担当学年:	2年生
		開講時期:	前期・後期・集中
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>精神保健福祉における理念・視点や関係性等の基礎的な枠組みを習得し、精神障害者の基本的人権の保障と社会正義の実現を担う専門職として精神保健福祉士の存在意義や役割について理解する。</p>			
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>精神保健福祉の歴史を概観しながら、精神障害のとらえ方、障害者福祉の理念や意義を解説する。また、精神保健福祉支援の価値・視点・倫理および精神保健福祉士の役割について解説する。</p>			
<p>〔授業における達成課題〕</p> <p>精神保健福祉士の支援対象である精神障害者について理解し、併せてソーシャルワーカーとしての精神保健福祉士の職業的アイデンティティの基本を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	最新・精神保健福祉士養成講座 第5巻 精神保健福祉の原理	中央法規出版	
教員参考用			
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他()</p>			
<p>【備 考】</p> <p>評価について:レポートの点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>			
<p>【内容】 精神科病院における約38年の臨床経験</p>			

科目名 精神保健福祉の原理		科目時限総数 30 限	教員名 山舘 幸雄
時限数	教育に含めるべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	精神保健福祉の原理	本科目の学びのポイントを抑える	
2 限	精神障害(者)の概念	精神保健福祉法における精神障害者の定義の理解	
3 限	同 上	障害者基本法及び障害者総合支援法における定義の理解	
4 限	同 上	国際生活機能分類(ICF)と精神障害の関連の理解	
5 限	同 上	精神障害の「障害特性」の理解	
6 限	同 上	精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流の理解	
7 限	精神障害者の(排除の)歴史	諸外国における排除の歴史とその後の展開の理解	
8 限	同 上	精神障害者の人権保障に関する国際的な取り組みの理解	
9 限	同 上	日本における排除の歴史の理解、精神保健福祉法成立まで	
10 限	同 上	日本における排除の歴史の理解、医療観察法関連	
11 限	同 上	日本における排除の構造・背景の理解	
12 限	同 上	日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組みの理解	
13 限	精神障害者の生活特性	精神科医療による生活への影響の理解	
14 限	同 上	精神障害者の家族が置かれている状況の理解	
15 限	同 上	精神障害者の社会生活の実際の理解	
16 限	同 上	メンタルヘルスをめぐる新たな課題の理解	
17 限	精神保健福祉の原理と理念	第1節精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程の理解	
18 限	同 上	精神保健福祉の原理を培ってきた歴史の理解	
19 限	同 上	精神保健福祉士法の成立とその価値の理解	
20 限	同 上	精神保健福祉士による実践の価値・原理の理解	
21 限	同 上	精神保健福祉士の実践の視点の理解	
22 限	同 上	エンパワメント・リカバリー等の主要概念の理解	
23 限	同 上	援助における関係性の理解	
24 限	精神保健福祉士の役割と機能	精神保健福祉法の理解	
25 限	同 上	精神保健福祉士の職業倫理の理解	
26 限	同 上	精神保健福祉士の業務特性の理解	
27 限	同 上	精神保健福祉士の業務指針の理解	
28 限	同 上	精神保健福祉士の職場・職域の理解	
29 限	同 上	精神保健福祉士の業務内容とその特性	
30 限	まとめ	改めて精神保健福祉の原理の要点をまとめる	

授 業 計 画 表

心理福祉学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	精神保健福祉制度論	教員名	山館 幸雄
科目時間数:	15 限	授業の種類:	講義・演習・実習
必修・選択の別:	必修・選択	担当学年:	2年生
		開講時期:	前期・後期・集中
<p>〔授業の目的・ねらい〕 精神障害者などメンタルヘルスの課題を抱えた人々を支援するための法制度を正しく理解するとともに法制度を活用する際の精神保健福祉士の視点・役割・支援方法等を理解する。</p>			
<p>〔授業全体の内容の概要〕 精神保健福祉法や関連する法律・制度についてその内容について、具体的事例も交えて解説する。</p>			
<p>〔授業における達成課題〕 精神保健福祉士の支援対象である精神障害者について理解し、併せて精神障害者の支援方法及び関連する制度についての知識を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	最新・精神保健福祉士養成講座 第4巻 精神保健福祉制度論	中央法規出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他()</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他()</p>			
<p>【備 考】 評価について: 期末試験の点数およびレポート課題の内容を評価し採点する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>			
<p>【内容】 精神科病院における約38年の臨床経験</p>			

科目名		精神保健福祉制度論	科目時限総数	15 限	教員名	山館 幸雄
時限数	教育に含めるべき事項・テーマ		主な学習内容と達成目標			
1 限	精神障害者に関する制度の成立過程		精神障害者に関連する制度の歴史と概要の理解			
2 限	精神保健福祉法について		精神保健福祉法の成立過程及び法律の内容の理解			
3 限	同法における精神保健福祉士の役割		精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割の理解			
4 限	様々な保健医療に関する制度		精神保健福祉法以外の法制度の概要の理解			
5 限	医療観察法について		医療観察法の成立過程と法の内容の理解			
6 限	同法における精神保健福祉士の役割		社会復帰調整官など専門職の役割の理解			
7 限	生活支援の基本的な考え方について		地域生活支援の理念や基本姿勢の理解			
8 限	障害者総合支援法について		障害者総合支援法の成立過程と法の概要の理解			
9 限	相談支援制度について		相談支援体制と支援内容および課題の理解			
10 限	居住支援制度について		居住支援体制と支援内容および課題の理解			
11 限	就労支援制度について		就労に関する様々な支援制度の内容を課題の理解			
12 限	精神障害者の経済的支援について		障害年金制度等の経済的支援制度に関する理解			
13 限	生活保護制度について		生活保護制度の原理・原則および扶助内容の理解			
14 限	生活困窮者自立支援制度について		生活困窮者自立支援制度の内容と課題の理解			
15 限	低所得者対策について		上記2制度以外の定食者支援対策の概要の理解			

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 高齢者の心理	教員名 鎌田 文総
科目時間数 : 15	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 1年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 生涯発達における高齢期の意味、心理学的諸機能の高齢化（エイジング）による変化、社会的背景、記憶や知能、感情、性格等の変化と適応の問題、また、高齢期の心理学的問題の中でもとりわけ、重要な重要な認知症の理解と心理学的対応技術などの理解と習得を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 主に以下の三つの内容からなる。一つは、高齢者心理学の基礎としての総論である。高齢者と加齢をめぐる心理学的考察の歴史と展望、生物学的加齢と心理学的加齢、および高齢者を取り巻く社会的環境、二つには、高齢期の注意、記憶、知能・知恵、創造性、情動・感情、幸福感、性格等、三つには、高齢者の認知症についてである。これらの研究や諸説を概観し、概説する。</p> <p>【授業における達成課題】 さまざまな視点からの高齢者の心理に関し、理解を深めるとともに、高齢者の医療・福祉・行政など多角的に捉えることができる</p>	
	使用教材
学生用・教員用	高年齢者心理学
	出版社
	朝倉書店
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 無</p>	
<p>【内容】 元特別支援学校校長</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
高齢者の心理		15 限	鎌田 文総
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する。	
2 限	第1部・総論	高齢者の心理学的基礎 1 高齢者と加齢をめぐる心理学的考察の歴史と展望 1	
3 限	第2部・各論	高齢者の心理学的基礎 1 高齢者と加齢をめぐる心理学的考察の歴史と展望 2	
4 限	〃	生物学的加齢と心理学的加齢 1	
5 限	〃	生物学的加齢と心理学的加齢 2	
6 限	〃	高齢者を取り巻く社会的環境 1	
7 限	〃	高齢者を取り巻く社会的環境 2	
8 限	〃	高齢者の知能、知恵、創造性	
9 限	〃	高齢者の情動・感情と幸福感	
10 限	〃	高齢期への適応と人格発達	
11 限	〃	認知症の理解（「知的障がい」、「認知障がい」との相違） 1	
12 限	〃	認知症の理解（三大認知症：アルツハイマー、レビー小体、脳血管性） 2	
13 限	〃	認知症者への支援 1	
14 限	〃	認知症者への支援 2	
15 限	記述試験	筆記試験	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 障害者の心理	教員名 鎌田 文総
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 2年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 人権尊重、生命尊重、共生の大切さの理解をベースに、種々の障がいについての概括的知識を習得させることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 視覚、聴覚、運動、知的、発達障害（LDやAD/HDなど）および重複障害等についての概説的知識を、臨床および発達心理学側面に視点をあて、その理解と支援について概説する。</p> <p>【授業における達成課題】 特別支援（障がい者）の医療・福祉・教育・行政等の実践に活かせるよう、種々の障がいについての概括的知識を説明できることを達成課題とする。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	障害者の心理学
	出版社
	福村出版
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他（ ）</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 元特別支援学校校長</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
障害者の心理		15	鎌田 文総
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する。	
2 限	パラダイム転換	20世紀から21世紀へ 国内外主要 5 パラダイムの転換 (1, 2)	
3 限	〃	視覚障がいの理解と支援	
4 限	〃	聴覚障がいの理解と支援	
5 限	〃	運動障がいの理解と支援	
6 限	〃	知的障がいの理解と支援	
7 限	〃	発達障がいの理解と支援	
8 限	〃	重複障がいの理解と支援	
9 限	〃	ダウン症乳幼児の理解と支援	
10 限	〃	ダウン症成人・高齢者の理解と支援	
11 限	〃	認知症の理解 (「知的障がい」、「認知障がい」との相違)	
12 限	〃	「ノーマライゼーション」の歴史	
13 限	〃	「ノーマライゼーション」日本の課題	
14 限	〃	グループ内での討論と発表	
15 限	記述試験	筆記試験	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育心理学	教員名 菅原 正和
科目時間数 : 30	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 4年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的知識を身に着け、各発達段階における教育心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を習得し、実践できるようにする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 教育心理学は心理学の各専門領域の研究成果を再結集した心理学における学際的領域から成り立っている。そこには発達・学習・記憶・知能・性格・発達障害とその理解、虐待といじめ、不登校問題、教育評価と心理測定等が内容に含まれる。</p> <p>【授業における達成課題】 課題を達成するために教育心理学における各行も気宇の理解にとどまらず、なぜそれをか菜ぶのか問題の解決はいかにして可能かを理論的に考え実践する能力を構築する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	要説 発達・学習・教育臨床の心理学 よくわかる教育心理学
	出版社
	北大路書房 ミネルヴァ書房
【使用教室】	
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】	
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有・無	
【内容】 特別支援学校校長	

科目名		科目時限総数	教員名
教育心理学		30 限	菅原正和
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	教育心理学の歴史的背景と内容	
2 限	教育心理学の方法	調査法、観察法、事例研究	
3 限	発達の要因	発達の段階と課題	
4 限	発達の初期経験	エピジェネティクスと遺伝的要因	
5 限	親子関係の心理学	心理学的方法と家族社会学的方法	
6 限	学習理論	モチベーション、プログラム学習、発見学習	
7 限	学習意欲	脳内メカニズムと無気力、意欲の問題	
8 限	学習と記憶	STL、LTM、ワーキングメモリー、エピソード記憶	
9 限	知能検査	知能の種類と検査法	
10 限	これからの知能	AIの現在と未来	
11 限	パーソナリティ	恒常性と遺伝、環境要因	
12 限		古典的理論と最新の理論	
13 限		質問紙法、投影法、生化学的検査	
14 限	社会性の発達	対人関係	
15 限	友人・異性関係	仲間関係の発達と孤立、ヘンドリック理論	
16 限	学校といじめ	海外での取り組み	
17 限	いじめのタイプと学級 集団	日本でのいじめの特徴	
18 限	教育臨床	スクールカウンセラーの必要性	
19 限	教育相談	教師・保護者への援助	
20 限	学校不適応	ストレスとフラストレーションの測定	
21 限	心身障害	統合教育と分離教育	
22 限	各障害	視覚障害・聴覚障害、ジストロフィー、てんかん	
23 限	生徒指導	教科の指導性・教師の指導性	
24 限	情報教育	メディア利用学習と留意点	
25 限	心理療法	心理劇・コラージュ療法	
26 限	道徳性の発達	コールバーグ理論、ギリガン理論、社会的学習理論	
27 限	スクールカウンセリン グ	プレイセラピー	
28 限	教育評価	新しいポートフォリオ評価	
29 限	総括	全体のまとめ	
30 限	試験	定期試験	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	心理学研究法	教員名	鈴木 護
科目時間数 :	30	限 授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 心理学は心を科学的に研究する学問である。だが、その研究対象である心は脳や心臓のように身体のどこかに存在しているものではなく、観察する事も出来ない。そもそも心とはどのようなものか、科学的に研究していく。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 心理学がどのように研究されているのかを学ぶ中で、心理学とはどのような学問であるのか正しい認識を持つことを第一の目的とする。</p> <p>【授業における達成課題】 心理を分析するための基本的な研究手法を獲得する。</p>			
		使用教材	出版社
		心理学研究法	サイエンス社
【使用教室】			
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】			
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()			
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 司法機関における研究員			

科目名		科目時限総数	教員名
心理学研究法		30 限	鈴木 護
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	心理学研究法の特徴	ブントの実験心理学、意識と行動	
2 限	〃	行動主義心理学の方法	
3 限	観察法と面接法	自然観察と実験観察	
4 限	〃	面接法	
5 限	実験法	心理学実験とは	
6 限	〃	実験の変数	
7 限	心理物理学的測定法	ミュラーリヤー錯視について	
8 限	〃	ミュラーリヤー錯視を調べる	
9 限	〃	ミュラーリヤー錯視を調べる②	
10 限	〃	実験結果のまとめ	
11 限	〃	実験結果のまとめ②	
12 限	〃	代表的な質問紙	
13 限	〃	質問紙法の概略	
14 限	〃	質問紙法の実施	
15 限	〃	SD法とは	
16 限	〃	SD法を実施する	
17 限	反応時間測定法	反応時間とは	
18 限	〃	代表的な研究	
19 限	〃	代表的な研究②	
20 限	研究文献を読む	サイエンティフィックアメリカンに掲載された論文を読む	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	統計法	代表値と分布	
25 限	〃	母集団とサンプル	
26 限	〃	記述統計と統計的検定	
27 限	調査法	相関と回帰	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	因子分析	
30 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 学習心理学	教員名 名古屋 恒彦	
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択	配当学年 2年 開講時期 : 前期 ・ <u>後期</u> ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 人間の行動が学習によってどのように変容するか、どのようにして新しい行動が形成されていくかについて学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 古典的的条件付け、オペラント条件付け、媒介過程、ワグナー理論等を中心に展開する。</p> <p>【授業における達成課題】 条件付けの理論を理解し、行動変容の過程を理解する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用	学習の心理学	培風館
<p>【使用教室】</p> <p>1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. <u>筆記試験</u> 2. <u>レポート</u> 3. <u>出席</u> 4. <u>授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p>		
<p>【内容】 元特別支援学校校長</p>		

科目名		科目時限総数	教員名
学習心理学		15 限	名古屋 恒彦
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	学習の理論が人間の行動にどのように影響しているのかを理解する	
2 限	学習とは	著名な学習理論についての理解を深める	
3 限	古典的条件付け	古典的条件付けを理解し、外部からの刺激が学習に影響する仕組みを理解する	
4 限	行動主義	行動主義の概要を理解し、のちの心理学の発展に与えた影響を知る	
5 限	恐怖条件付け	身近な事例から恐怖条件付けの内容を理解する	
6 限	新行動主義	ワトソンの時代より行動主義の価値観や研究方法の変化がどのように心理学に作用したかを理解する	
7 限	媒介理論	ヴィゴツキーの媒介過程を理解し、認知の仕組みを理解する	
8 限	オペラント条件付け	オペラント条件付けの仕組みを理解できる	
9 限	味覚嫌悪学習	思考学習と味覚連合などの仕組みを知る	
10 限	ワグナー理論	パブロフの理論と比較し、ワグナー理論が隠ぺいなどを防ぐことに役立っている理由を理解する	
11 限	レポート対策	中部学院大学レポート対策	
12 限	レポートまとめ	レポート作成	
13 限	講義の振り返り	講義を振りかえり、修了試験への準備を行う	
14 限	修了試験対策	科目修了試験対策	
15 限	修了試験対策	科目修了試験対策	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生理心理学	教員名 阿部 真之
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : 前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 脳の構造や機能についての知識を習熟し、脳と心の関係やそれにかかわる諸問題について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・脳の構造について ・脳内の情報処理について ・脳のはたらきと身体機能や精神機能との関わりについて ・様々な精神障害と脳疾患との関連について</p> <p>【授業における達成課題】 ・脳の各部位の名前や機能局在について理解すること ・脳と心の関係について理解すること</p>	
	使用教材
	出版社
	生理心理学： 脳の働きから見た心の世界 第二版
	サイエンス社
【使用教室】	
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】	
1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】	
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
【内容】 児童精神科および精神科の医療機関、学校現場における臨床経験。	

科目名		科目時限総数	教員名
生理心理学		30 限	阿部 真之
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	生理心理学について理解する	
2 限	生理心理学とは	全体論と局在論を理解する。生理心理学の研究方法について理解する。	
3 限	生理心理学とは	脳が何からできているかを理解する。中枢神経系と末梢神経系について理解する。	
4 限	脳の構造	大脳皮質と脳地図を理解する。脳の分類について理解する。	
5 限	脳の構造	神経細胞の信号伝達部位を理解する。神経細胞の構造を理解する。	
6 限	脳の信号	平衡電位を理解する。静止膜電位を理解する。	
7 限	脳の信号	シナプス後電位を理解する。神経伝達物質の放出と除去について理解する。	
8 限	脳の信号	神経伝達物質の同定の基準を理解する。	
9 限	脳と知覚	視覚経路を理解する。	
10 限	脳と知覚	高次視覚皮質における細胞応答について理解する。第1次視覚野以降の経路について理解する。	
11 限	脳と知覚	聴覚系について理解する。化学的感覚について理解する。	
12 限	脳と記憶	記憶と、その障害を理解する。事例を通して記憶障害についての理解を深める。	
13 限	脳と記憶	動物実験における知見から記憶についての理解を深める。脳の可塑性を理解する。	
14 限	脳と記憶	長期増強と記憶について理解する。	
15 限	学習	脳と学習についてを理解する。	
16 限	学習	慣れと鋭敏化を理解する。条件付けについて理解する。	
17 限	学習	条件付けについて理解を深める。学習の神経科学の進展について理解する。	
18 限	情動	情動について理解する。情動の機構について理解する。	
19 限	情動	情動と健康について理解を深める。	
20 限	動機づけ	動機づけについて理解する。	
21 限	動機づけ	摂食と飲水行動について理解する。攻撃行動について理解する。	
22 限	動機づけ	社会的動機について理解する。	
23 限	心の病気と脳	生物学的に見た心の病気について理解する。	
24 限	心の病気と脳	生物学的に見た統合失調症を理解する。生物学的に見た気分障害を理解する。	
25 限	心の病気と脳	生物学的に見た不安障害を理解する。	
26 限	脳の側性化	大脳半球について理解を深める。	
27 限	脳の側性化	失語症研究より、言語と脳を理解する。右半球の機能を理解する。	
28 限	脳の側性化	左半側無視を理解する。	
29 限	睡眠	睡眠について理解する。	
30 限	睡眠	睡眠の機能を理解する。睡眠のメカニズムを理解する。	
31 限	睡眠	睡眠の臨床について理解する。	
32 限	意識	意識と自我の神経基盤を理解する。	
33 限	意識	前頭連合野について理解を深める。潜在的認知を理解する。	
34 限	意識	非侵襲的脳機能測定法について理解する。	
35 限	臨床心理学と脳科学	脳の発達と臨界期を理解する。	
36 限	臨床心理学と脳科学	ADHDと脳について理解する。自閉症と脳について理解する。	
37 限	臨床心理学と脳科学	パーキンソン病とアルツハイマー病について理解する。神経心理学的リハビリテーションを理解する。	
38 限	まとめ	全体を振り返り、脳の各部位の名前や機能局在について理解を深める。脳と心の関係について理解する。	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 臨床心理学	教員名 菅原 正和	
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 4 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 本授業は臨床心理学の地租知識として、理療理論や介入技法に加え、心や年限についての捉え方、症状や障害についての知識、査定の方法について学ぶ。</p>		
<p>【授業全体の内容の概要】 ①心理アセスメント方法②地域援助方法③以上心理学④発達障害⑤臨床心理学の研究法⑥心理療法の技法を展開する。</p>		
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会と人々の接点への介入方法を知る ・ 問題解決型ソーシャルアクションの技法を理解する ・ 地域の状況を知るためのツールを理解する 		
	使用教材	出版社
	よくわかる臨床心理学	ミネルヴァ書房
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 元特別支援学校校長</p>		

科目名		科目時限総数	教員名
臨床心理学		30 限	菅原 正和
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	臨床心理学とは何か	
2 限	臨床心理学の基本理論	臨床心理学の基本となる理論を理解する	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	臨床心理査定	臨床心理査定の目的と方法を理解する	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	臨床心理査定	臨床心理査定のデータ収集、分析方法を理解する	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	異常心理学	異常心理学の概要を理解する	
13 限	〃	夢分析の概要を理解する	
14 限	〃	超心理学の概要を理解する	
15 限	〃	〃	
16 限	ライフサイクルと心理的問題	エリクソンのライフサイクル理論を理解する	
17 限	〃	幼児期のライフステージにおける発達課題を理解する	
18 限	〃	青年期におけるライフステージと発達課題を理解する	
19 限	〃	老年期におけるライフステージと発達課題を理解する	
20 限	発達過程で生じる障害や問題	ステューデントアパシー等の現象を理解する	
21 限	〃	〃	
22 限	心理療法の介入技法	箱庭療法・投影法・コラージュ療法の効果を理解する	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	〃	
26 限	心理療法の集団への適用	心理劇ロールプレイ及び心理療法模擬実践	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 福祉への心理学的アプローチ	教員名 鎌田 文総
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 4年
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 さまざまな視点からの「心理学的アプローチ」に関し、研究事例を通しながら理解を深める。とともに、特別支援（障がい）者の医療・福祉・教育・行政に活かせるよう、概括的知識習得および、技術的、方法論的手法の習得の重要性の感得を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 視覚、聴覚、運動、知的、発達障がい（LDやAD/HDなど）および重複障がい児・者等の「福祉」に焦点をあてつつ、発達心理学、臨床心理学、応用心理学的側面からの様々なアプローチ研究を考究することを通して、その理解と支援について概観し、概説する。</p> <p>【授業における達成課題】 さまざまな視点からの「心理学的アプローチ」に関し、事例研究を通しながら理解を深める特別支援（障がい）者の医療・福祉・教育・行政等の実践に活かせる事を目的とする。</p>	
	使用教材
学生用	発達障害者の理解と支援
	出版社
	福村出版
【使用教室】	
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）	
【評価方法】	
1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）	
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	
【内容】 元特別支援学校校長	

科目名 福祉への心理学的アプローチ		科目時間総数 15 限	教員名 鎌田 文総
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する。	
2 限	福祉心理学的アプローチ	福祉と心理学的アプローチの捉え（１）	
3 限	〃	福祉と心理学的アプローチの捉え（２）	
4 限	発達心理学的文献研究	「発達心理学的」アプローチの事例：文献研究（１）	
5 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：文献研究（２）	
6 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：文献研究（３）	
7 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：文献研究（４）	
8 限	発達心理学的実験的研究	「発達心理学的」アプローチの事例：実験的研究（１）	
9 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：実験的研究（２）	
10 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：文献研究（３）	
11 限	発達心理学的調査研究	「発達心理学的」アプローチの事例：調査研究（１）	
12 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：調査研究（２）	
13 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：調査研究（３）	
14 限	〃	「発達心理学的」アプローチの事例：調査研究（４）	
15 限	まとめ	修了試験	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	ソーシャルワーク演習	教員名	畠山 修
科目時間数 :	8	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士の資格上の特性として、権利擁護並びにプライバシーの保持が義務付けられている。ボランティア等で知識や技術を涵養することは重要であるが、技術を支援に反映させるためには「ソーシャルワーク活動の場面を想定した取り組み」が必要である。そこで、様々な事例をソーシャルワークの技術を用いて検討し、支援技術の大切さを学んでほしい。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 事例検討はロールプレイを中心に行うが、ロールプレイは物まねではなく、真剣に対象者を演じることで、リアリティある支援を検討できるものである。人前で発表するのが恥ずかしいという価値観を乗り越える機会としてほしい。</p> <p>【授業における達成課題】 事例に応じてふさわしいロールプレイを実践できているか、またそのロールプレイ内容に適切な支援方法を考えることができているかを達成課題とする。</p>			
	使用教材	出版社	
	ソーシャルワーク演習	中央法規	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 () 野外体験		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時限総数	教員名
ソーシャルワーク演習		8 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	自己覚知の重要性を知る	
2 限	ロールプレイ	ロールプレイのルール、マナーを確認し、真剣に演じる土台を作ることができる	
3 限	事例検討	児童虐待を受けている子どもへのソーシャルワーク	
4 限	〃	障害基礎年金を横領されている障害者へのソーシャルワーク	
5 限	〃	パーソナリティ障害と診断された人から執拗に交際を求められている人へのソーシャルワーク	
6 限	〃	青年期に障害を負った中途障害者の障害受容過程とソーシャルワーク	
7 限	〃	盲ろう者等、重複障害者へのソーシャルワーク	
8 限	〃	就業意欲が起こらず、何度も転職を繰り返す未診断の方へのソーシャルワーク	

科目名	精神保健福祉演習 I (ソーシャルワーク演習・精神専門)		科目時間総数	8時限	教員名	山舘 幸雄
時間数	教育に含めべき事項・テーマ		主な学習内容と達成目標			
1～3	限	オリエンテーション	演習の意義と目的			
4～6	限	相談援助の基盤	自己理解と他者理解、価値と倫理、援助関係			
7～9	限	コミュニケーション技術	言語的・非言語的コミュニケーションなど			
10～12	限	基本的な面接技術	対面による面接相談、電話・訪問相談など			
13～16	限	社会福祉援助技術1	個人に対する相談援助の流れなど			
17～20	限	社会福祉援助技術2	グループにおける相談援助の流れなど			
21～22	限	社会福祉援助技術3	コミュニティにおける相談援助の方法など			
23	限	社会福祉援助技術4	実践モデル・アプローチ別援助方法			

授 業 計 画 表

心理福祉学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	精神保健福祉援助演習Ⅱ		教員名	山館 幸雄	
科目時間数:	8 限		授業の種類:	講義・演習・実習	
必修・選択の別:	必修・選択	担当学年:	3年生		
開講時期:			前期・後期・集中		
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>精神保健福祉援助実習を通して得られた課題等についてグループで話し合うことによって実習経験の共有化を行う。また、それらの課題の解決に向けて取り組むことを通して精神保健福祉士の援助方法を学ぶ。</p>					
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>まず各自から実習報告をしてもらい、その後グループディスカッションにより実習の振り返りを行う。また、実習で感じた課題についてグループワークを行う。最後に実習報告書を作成する。</p>					
<p>〔授業における達成課題〕</p> <p>実習を振り返り、実習報告書を作成すること。また、精神保健福祉士の価値・視点および援助技術について理解すること。</p>					
	使用教材			出版社	
学生用	新・精神保健福祉士養成講座 第8巻 精神保健福祉援助演習(基礎・専門) 第9巻 精神保健福祉援助実習指導・実習			中央法規出版	
教員参考用					
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他()</p>					
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他()</p>					
<p>【備 考】</p> <p>評価について:レポートの点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>					
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>					
<p>【内容】 精神科病院における約38年の臨床経験</p>					

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉援助演習Ⅱ		8 限	山舘 幸雄
時間数	教育に含めるべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	オリエンテーション	演習の目的と進め方について理解する	
2 限	実習の振り返り1(実習機関の機能・役割)	実習機関の機能・役割について、指導者等から説明を受けたことを整理するとともにパンフレットや活動報告等を見直し、理解を深める	
3 限	実習の振り返り2(利用者の状況)	実習機関の利用者の状況について、利用者とのコミュニケーションや指導者等から説明を受けたことを整理し、理解を深める	
4 限	実習の振り返り3(指導者に質問したこと)	実習指導者に質問したり、実習日誌等で助言指導を受けたことを振り返る	
5 限	実習の振り返り4(印象に残ったこと)	実習中特に印象に残ったことについて記録等を確認しながら振り返る	
6 限	実習の振り返り5(精神保健福祉士の役割や課題)	実習を通して学んだ精神保健福祉士の役割や課題について理解を深める	
7 限	実習自己評価・自己覚知	実習で取り組んだことを実習計画書と照合しながら自己評価する。また、今後の自分の課題についてまとめる。	
8 限	実習報告書の作成	演習での振り返りを通して整理したものをもとに実習報告書を作成する	
アフターフォロー		演習全体を振り返り、感想や気づいたことを発表する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神保健福祉実習指導	教員名 山舘幸雄・畠山 修		
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 2 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 事前実習及び精神保健福祉援助実習に臨むにあたり、専門職に必要な知識・倫理・技術を確認しつつ、利用者のストレングスに焦点を充てた支援を行うための視点を強化していく。また、精神保健福祉法改正や障害者差別解消法の制定、発達障害者の増加に併せ、その人を支援するための根拠となるニーズを的確に捉える視点を養う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 入念な事前学習を通し、精神保健福祉士の業務の基礎的理解をはじめ、利用者のエンパワメントを促進できるような多角的な支援方法を理解する。各実習施設が展開している相談援助をはじめ、地域保健福祉活動に必要な社会資源を理解するために、精神保健福祉士として何ができるかを各自で検討し、効果的な精神保健福祉援助実習につなげていく。</p> <p>【授業における達成課題】 ・実習計画書の作成を通し、実習の意義や学ぶべきポイントを整理することができる。 ・実習前後のスーパービジョンを通し、実習に対する目標と振り返りを主体的に行い、専門職として必要な知識・倫理・技術を習得できる。</p>			
	使用教材	出版社	
	ソーシャルワーク実習・ソーシャルワーク実習指導	中央法規	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 医療機関の精神保健福祉士			

科目名 精神保健福祉実習指導		科目時限総数 30 限	教員名 山舘幸雄・畠山修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	精神保健福祉援助実習の位置づけや実習内容を理解する	
2 限	実習の法的根拠	精神保健福祉士実習に必要な条件や配属先への理解を深める	
3 限	実習事前学習	実習に必要な書類を確認し、各々の様式について根拠を持って説明できる	
4 限	〃	実習配属先への理解を深め、目的意識や達成課題を明確にすることができる	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	実習記録の理解	叙述体・要約体・説明体の記入方法を理解し、客観的な記録の書き方を取得する	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	実習事前準備	実習先が求める精神保健福祉士の役割を理解する	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	実習を想定した演習	個別ケースに対し、支援が必要な視点や社会資源、支援の方向性を主体的に考案することができる	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	実習事前スーパービジョン	実習体験を担当教員・学生と共有し、実習に必要な知識や技術、倫理を再確認する	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	実習事後スーパービジョン	実習の振り返りを通して、本実習への課題を意識する	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	実習記録の振り返り	実習記録をもとに体験内容の再整理を図る	
25 限	〃	〃	
26 限	実習報告会準備	実習報告会準備	
27 限	〃	〃	
28 限	実習報告会	実習報告会	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	レポート実践研究	教員名	畠山 修
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : (講義) ・ (演習) ・ 実習
必修・選択の別 :	(必修) ・ 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	(前期) ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 レポートの基本的な書き方を学び、また様々な文献や論文の熟読を通し、論じることの大切さを理解するとともに併修校科目のレポート合格の足掛かりとすることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 クラスメイト同士のエンカウンターを活用し、授業内にレポートを作成する時間を設ける。それにより、クラス全体として均一なレポート作成状況となることをねらいとする。</p> <p>【授業における達成課題】 併修校科目の課題に沿ったレポート作成ができているか。</p>			
	使用教材	出版社	
	その都度指示		
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 () 野外体験		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時限総数	教員名
レポート実践研究		15 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	レポートの書き方	学術論文としてのレポートの書き方を理解する	
2 限	段落構成	起承転結の段落構成、改行のタイミングを理解する	
3 限	レポート作成	1年次の併修校科目レポートを作成する	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	各科目レポート提出	最低2科目以上のレポートを提出する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	レポート実践研究	教員名	畠山 修
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 レポートの基本的な書き方を学び、また様々な文献や論文の熟読を通し、論じることの大切さを理解するとともに併修校科目のレポート合格の足掛かりとすることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 クラスメイト同士のエンカウンターを活用し、授業内にレポートを作成する時間を設ける。それにより、クラス全体として均一なレポート作成状況となることをねらいとする。</p> <p>【授業における達成課題】 併修校科目の課題に沿ったレポート作成ができているか。</p>			
	使用教材		出版社
	その都度指示		
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他 () 野外体験		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時限総数	教員名
レポート実践研究		15 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	レポートの書き方	学術論文としてのレポートの書き方を理解する	
2 限	段落構成	起承転結の段落構成、改行のタイミングを理解する	
3 限	レポート作成	1年次の併修校科目レポートを作成する	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	各科目レポート提出	最低2科目以上のレポートを提出する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	聴覚障害福祉論（手話）	教員名	我妻信子
科目時間数：	15	限	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	(必修) ・ 選択	配当学年：	1年
		開講時期：	(前期) ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 聴覚障害についての基本的な理解及び基本的な手話の知識・技術を習得することにより、聴覚障がい者を取り巻く社会的な環境を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 聴覚障害者の理解、手話の基礎知識について理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について必要な知識と技術を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
	手話を学ぼう 手話で話そう	全国手話研修センター	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他（ ）	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他（ ）		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 労働行政機関における相談員			

科目名		科目時限総数	教員名
聴覚障害福祉論（手話）		15 限	我妻 信子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけの理解	
2 限	聴覚障害者のコミュニケーション方法	手話の基礎知識、7つのコミュニケーション方法（グループ討議）	
3 限		あいさつの単語	
4 限	〃	名前の紹介・指文字	
5 限	〃	聴覚障害者の生活	
6 限	〃	家族紹介	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	家族紹介（グループ発表）	
9 限	〃	当事者からの話を聞く	
10 限	〃	数字（誕生日、時間、お金）	
11 限	〃	趣味・季節	
12 限	〃	趣味・自己紹介の練習	
13 限	〃	仕事	
14 限	〃	あなたの家を紹介しましょう	
15 限	〃	作文作成	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 聴覚障害福祉論（手話）	教員名 我妻信子・畠山修		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 2年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 1年次に学習した基本的な手話を用い、相談援助場面における聴覚障害者への対応を想定したロールプレイを行うことで日本語とは異なる言語を有する障害者への対応方法を学ぶ。また、手話を社会・文化的視点から捉えることで、ろう文化の特徴や健聴者社会で生きる難聴者の特徴など、聴覚障害教育・福祉の歴史を概観しながら理解を深めていく。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 16世紀に手話が社会的に出現したといわれているが、当時も現在も「当事者から学ぶ」ことに相違はない。積極的に聴覚障害者と関わり、価値観や生活観に触れ、聴覚障害者の文化に積極的に交流できるようにしたい。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援に必要な手話コミュニケーションの技術を習得する ・ 聴覚障害者の言語・文化を理解できる 			
	使用教材	出版社	
	手話を学ぼう 手話で話そう	全国手話研修センター	
<p>【使用教室】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () </p>			
<p>【評価方法】</p> <p> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () </p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 労働行政機関における相談員</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
聴覚障害福祉論（手話）		15 限	我妻 信子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	応用手話実践	相談援助場面を想定したロールプレイ	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	手話の歴史	16世紀のフランス法の誕生から手話口話論争を概観する	
9 限	手話の排除	ベルの論文を通し、口話が優位になった時代において先人たちはどのように手話を守っていたのかを理解する	
10 限	聴覚障害者と差別	蛇の目寿司事件、京都ろう学校授業拒否事件を通し、聴覚障害者の人権と言語権を理解する	
11 限	ろう文化	ろう文化宣言を読み、言語的マイノリティとしてのろう者の位置づけを理解する	
12 限	難聴者の世界	聞こえづらさの中で生きる難聴者の心理的社会的課題を理解し、聞こえの多様性を理解する	
13 限	CODAの世界	聞こえない親を持つ聞こえる子が抱く葛藤や心理的課題を理解する	
14 限	現場実習	聴覚障害者関連施設に行き、当事者との交流を通して言語的・心理的支援の重要性を理解できる	
15 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 視覚障害福祉論（点字）	教員名 横 澤 忠		
科目時間数 ： 15 限	授業の種類 ： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 ： 1 年次	開講時期 ： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 視覚障害者の情報収集やコミュニケーション方法の文字である「点字」の組立て等を理解し、その読解力等を身につけるとともに、視覚障害者への支援手段等に触れる学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 （講義と演習ほか） 点字の組立て／点字の歴史／点字の表記と分かち書き 点字を書く器具&点字関係資料／点字を読む／点字を書く 点字で遊ぶ／（視覚障害者用サイン探索と施設見学）／当事者の話</p> <p>【授業における達成課題】 視覚障害者の使用文字である点字に興味を持つ 点字の組立てや書き方の基本ルールを習得し、点字を書く 身の周りにある点字を見つけ、内容を知る（＝点字を読む） （視聴覚障がい者情報センターの見学等を体験する）</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	「初めての点訳」（第3版）	全国視覚障害者情報提供施設協会	
<p>【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <input checked="" type="checkbox"/> 7. その他（関連施設等で校外学習）</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 6. その他（点字の提出物・確認テストほか）</p>			
<p>【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 無</p>			
<p>【内容】 点訳奉仕活動（継続中）&点字指導員としての奉仕員養成実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
視覚障害福祉論（点字）		15 限	横澤 忠
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
	点字の読み書き 関係機関と当事者	視覚障害者の使用文字である点字の読み書き等の習得 視覚障害者用サイン探索、関係機関と当事者を知る	
1 限 (4月15日)	点字の組み立て	自分の周りにおける点字の存在を認識する 点字の五十音等を学び、簡単な点字を読むことができる 到達目標：点字の組立てを理解し、点字を読む（初級①）	
2 限 (4月22日)	点字の歴史 点字の表記①	世界の点字と日本の点字の歴史について学ぶ 点字のかなづかいについて学ぶ 到達目標：点字のかなづかいを理解し、点字を読む（初級②）	
3 限 (5月13日)	点字の表記②	点字の数字・アルファベットについて学ぶ 点字の印刷物を読んで、問いに答えることができる 到達目標：点字の表記を理解し、点字を読む（中級）	
4 限 (5月20日)	点字の分かち書き 点字を書く器具	点字の分かち書き（複合語・固有名詞）について学ぶ 点字の器具を知り、簡単な点字を書くことができる ⇒提出物① 到達目標：分かち書きを理解し、点字を書く	
5 限 (5月27日)	（視覚障害者用サイン） ⇒実施不可時は個別探索方式	街なかにある視覚障害者のためのサインを確認する（校外学習） 視覚障害者のためのサインの種別等を認識する 到達目標：どのようなサインがどこにあるか記録する	
6 限 (6月 3日)	発見サインまとめ	街なかのサイン探索のまとめを作成することができる どのようなサインがどこにあったかを発表することができる 到達目標：調査結果をまとめ、発表する ⇒提出物②	
7 限 (6月10日)	点字の記号類 点字を書く（短文）	点字の記号類と書き方の実際について学ぶ 器具を使用して、点字の短文を書くことができる ⇒提出物③ 到達目標：点字のルールを理解し、短文を書く（初級）	
8 限 (6月17日)	点字印刷物 日本語はむずかしい	点字印刷物に触れ、印刷方法の違いを学ぶ 漢字のいろいろな読み方について学ぶ 到達目標：漢字のいろいろな読み方について理解する	
9 限 (6月24日)	手でみる博物館 長文点訳に挑戦	視覚障害者のための手でみる博物館について学ぶ 器具を使用して、点字の長文を書くことができる ⇒提出物④ 到達目標：正確な点字を書きながら、分かち書きを習熟する	
10 限 (7月 1日)	点字関係資料 点字で考える	点字習得用の各種関係資料について学ぶ 点字を扱った教材で、点字の遊びなどを体験する 到達目標：点字を使った教材を使用し、点字への興味を増す	
11 限 (7月 8日)	視覚障害者の状況 視覚障害者の福祉制度	視覚障害者の状況や日常生活について学ぶ 視覚障害者の福祉制度の概論と視覚障害者への接し方について学ぶ 到達目標：視覚障害者への接し方等を理解する	

12 限 (7月15日)	(関連施設の見学) ⇒実施不可時は別内容	視聴覚障がい者情報センターについて学ぶ (校外学習) 点字関係資料の宝庫 (各種辞書・点訳百科事典) を見聞する 到達目標: 視覚障害者への情報提供について理解する
13 限 (7月22日)	視覚障害者の話	視覚障害当事者から読書・生活等の話を聞き、知識を深める 視覚障害者の歩行介助について、実体験として学ぶ 到達目標: 視覚障害者の読書環境や日常生活等を理解する
14 限 (7月29日)	パソコン点訳体験	視覚障害者がパソコンを使用する方法について学ぶ パソコン点訳の初歩 (6点入力等) について学ぶ 到達目標: パソコン点訳の初歩を体験する
15 限 (8月 5日)	点字を書く (長文) 確認テスト	器具を使用して、点字の長文 (自由課題) を書くことができる 点字の読みと点字に関する小レポートを作成することができる ⇒ 提出物⑤ 到達目標: 点字のルールを理解し、長文を書く (中級)

- ※ 5限の校外学習を実施できない場合は、個別探索方式とする。
- ※ 12限の校外学習を実施できない場合は、別内容を学習する。

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 スクールソーシャルワーク論	教員名 畠山 修		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 これまで教育機関に在籍している困りごとを抱える児童生徒への対応は、担任の先生を始めスクールカウンセラーが対応しつつも、抜本的な問題解決には至らないケースが多かった。問題解決型の側面を持つスクールソーシャルワーカーがその役割を担いつつも、教育委員会を含め複雑な組織体制の中でソーシャルワークを行う難しさの中で児童生徒と関わっていく。本講義では環境との接点に着目したアセスメントを含め、学校を取り巻く地域を含めたソーシャルワークの展開を学ぶことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 文部科学省の調査によると、特別支援学級に通学する児童生徒よりも普通学級に在籍している困りごとを抱える児童生徒の割合が多いという報告がある。教育機関には困りごとを抱える児童生徒が常に在籍している事を前提として、教育機関との連携のもとに児童生徒が健やかな心身の発達を目指せる関わりを概観していく。</p> <p>【授業における達成課題】 教育機関の組織を理解し、困りごとを抱える児童生徒のニーズを解決するためのソーシャルワーク過程を理解する。</p>			
	使用教材	出版社	
	岩手県教育委員会「スクールソーシャルワーカー活用の手引き」	岩手県教育委員会	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名 スクールソーシャルワーク論		科目時限総数 15 限	教員名 畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	ガイダンス	イギリスにおけるSSWの歴史を概観し、学校教育におけるソーシャルワーク実践の意義を理解する	
2 回	学校組織	教育委員会をはじめとした校務分掌を理解し、教育現場における教職員の役割を知る	
3 回	教育機関の問題	教育機関が抱える問題を整理し、教職員が学校現場において感じるジレンマを理解する	
4 回	教育基本法	教育基本法の内容を理解する	
5 回	学習指導要領、生徒指導提要	学指導要領の内容を理解し、教職員が身に付ける教科指導の知識や性 と対応の基準を理解する	
6 回	不登校	不登校の現状とメカニズムを理解し、不登校状態の児童に対するア セスメントの視点を理解する	
7 回	発達障害	発達障害の特性から生じる学習上の困りごとを整理し、児童に適した 教育を提供するためのアセスメント方法を理解する	
8 回	機能不全家族	DV・児童虐待・貧困家庭等、正常に機能しない家族に対し、包括的な アセスメントのもとに支援方法を考えることができる	
9 回	モンスターペアレント	理不尽な要求をする親に対し、教育機関だけではなく司法機関や児童 相談所との連携のもとに解決する方法を理解する	
10 回	SSW活用する方法	社会福祉士会や精神保健福祉士会の組織を理解し、SSWを適切に活用す るための方法を理解する	
11 回	事例検討	発達障害を有する児童の事例をもとに、ケースワーク的対応及びアセ スメント技法を理解する	
12 回	いじめ事例検討	いじめ事例に対し、その構造を理解するとともにいじめを予防するた めの取り組みを理解する	
13 回	SSWの啓発活動	支援実践だけではなく、SSWの理解普及啓発活動の重要性を理解する	
14 回	SSW実践事例DVD	SSWの教育現場における支援の実際を視聴覚教材を通して理解する	
15 回	まとめとレポート	授業内容の到達度合いをレポートにまとめる	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 リハビリテーション論	教員名 畠山 修
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 2年 開講時期 : 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 機能回復から全人的復権までのリハビリテーションの流れ、社会的・職業的・医学的リハビリテーションの役割を知り、機能回復のみならずQOLの向上を目指すリハビリテーションのあり方について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 他の授業でも医学的知識を学んでいるとは思いますが、それをベースとしてADLの向上に必要なリハビリテーションの歴史を概観する。</p> <p>【授業における達成課題】 医学的知識をベースとして、障害や疾患の形態に応じたリハビリテーションの種類を理解する</p>	
	使用教材
	リハビリテーション論
	出版社
	メジカルフレンド社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
リハビリテーション論		15 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	リハビリテーションの歴史の変遷を理解する	
2 限	社会的リハビリテーション	社会的リハビリテーションの意義を理解する	
3 限	職業的リハビリテーション	職業的リハビリテーションの意義を理解する	
4 限	医学的リハビリテーション	医学的リハビリテーションの意義を理解する	
5 限	ADLとQOL	ADLとQOLの意味を理解し、バランスの良いリハビリテーションを理解	
6 限	心疾患とリハビリ	心疾患のメカニズムを理解したうえでのリハビリテーションを学ぶ	
7 限	高次脳機能障害とリハビリ	脳機能の損傷の度合いに応じた症状とそのリハビリテーションを学ぶ	
8 限	聴覚障害とリハビリ	聴覚損失の程度に応じたリハビリテーションを学ぶ	
9 限	視覚障害とリハビリ	視力の度合いに応じたリハビリテーションを学ぶ	
10 限	肢体不自由とリハビリ	上肢機能・下肢機能の障害の程度に応じたリハビリテーションを学ぶ	
11 限	内部障害とリハビリ	内部障害の程度に応じたリハビリテーションを学ぶ	
12 限	ADLの向上	ADLの向上のためのリハビリテーション方法を学ぶ	
13 限	リハビリと評価	リハビリテーションの評価方法を理解する	
14 限	//	//	
15 限	修了試験	修了試験	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 障害学概論	教員名 畠山 修	
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 これまで「研究対象」「支援対象」であったクライアントという捉え方から、エンパワメントの視点に基づき「当事者が主体となって福祉・教育を推進する」という視点は、ピアサポートやセルフヘルプといった当事者のストレングスを最大限に活かすものである。アメリカにおけるIL運動、「Deaf President now」「ろう文化宣言」に代表される当事者が声を上げてアイデンティティを表明し、社会制度に一石を投じる活動は、利用者主権を学ぶ上で大切な事である。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 イギリス・アメリカの障害学 (Disability Study) をベースとし、当事者のニーズを直接社会に訴えていく事でソーシャルアクションの実現に繋がるという事を理解しつつ、差別特別の違いも明確に判断できるような視点を持ってほしい。</p> <p>【授業における達成課題】 当事者主体の活動が社会にどのように影響を及ぼすか、エンパワメント・アプローチの視点を理解できる。</p>		
	使用教材	出版社
	ディスアビリティ・スタディーズ	明石書店
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
障害学概論		30 限	島山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	ガイダンス・オリエンテーション	
2 限	ディスアビリティの理解	医学モデルと社会モデルの比較歴史学的パースペクティブを理解する	
3 限	慢性病と障害への社会的アプローチ	描写役割とラベリング理論を理解する	
4 限	ディスアビリティと家族	教育・雇用・住宅システムなどの生活環境と家族の関係を理解する	
5 限	ディスアビリティの政治	ディスアビリティと福祉国家の関連を理解する	
6 限	"	所得補償政策を理解する	
7 限	"	地域コミュニティにおける社会的支援を理解する	
8 限	"	政治と障害者の関係を理解する	
9 限	"	障害者の抗議行動と社会正義の関連を理解する	
10 限	"	アイデンティティと政治の関連を理解する	
11 限	文化・余暇・メディア	文化への社会的アプローチを理解する	
12 限	"	余暇と社会生活の関係を理解する	
13 限	"	ディスアビリティの文化的表象を理解する	
14 限	ディスアビリティ社会学	蛇の目寿司地面から、通訳者の在り方を理解する	
15 限	"	こんな夜更けにバナナかよの事例から、重度身体障害者の権利を理解する	
16 限	"	アカス紙器事件から、知的障害者の生活・雇用状況と権利を理解する	
17 限	"	運転免許裁判から、欠格条項や相対的欠格条項の特徴を理解する	
18 限	"	障害者のセクシュアリティについて理解する	
19 限	"	優生保護法下における障害者の強制避妊と当事者の権利を理解する	
20 限	"	富国強兵策時代の障害者の処遇と権利を理解する	
21 限	"	シャーマニズムにおける障害者の扱いと座敷牢など、アンビバレントな障害者への処遇と文化を理解する	
22 限	"	合理的配慮を実施したにもかかわらず、結果に繋がらなかったことは差別に当たるか、バウンダリーを含めて理解できる	
23 限	"	バイリンガル教育の事例をもとに、第一言語を手話とする取り組みと日本語教育の関連を理解する	
24 限	"	障害者が思春期に抱く発達課題を理解し、障害者が恋愛をする時の課題を理解できる	
25 限	"	手話サークルに健常者が参加した時、そこに「障害は存在しない」という状況を健常者がどのように受け止めるか理解する	
26 限	"	障害を持つ教員が健常者に指導する場合、その関係性と学びについて理解する	
27 限	"	ディドロ「盲人書簡」をベースに、なぜ視覚障害者が触覚に優れた種族と捉えられるのかを理解する	
28 限	"	北センチネル島の事例をもとに、外界と接触せず独自の文化を形成する事の是非を理解する	
29 限	"	アメリカADA法を理解し、障害者差別を社会全体で許さないという風潮を作るには何が必要かを理解する	
30 限	まとめ	講義のまとめレポート作成	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 レクリエーションI (コミュニケーション実技)	教員名 佐々木 純子		
科目時間数 : 15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1年	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 援助的コミュニケーションについて理解するとともに、多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 コミュニケーションの基本を理解したうえで、具体的なコミュニケーション技法の習得を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】 コミュニケーションの意義・目的について理解し、対人関係づくりに生かす。様々なコミュニケーション技法を理解し、チームにおけるコミュニケーションの重要性を理解する。</p>			
	使用教材	出版社	
	その都度指示		
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>			
<p>【内容】</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
レクリエーション I		15 限	佐々木 純子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	自己紹介	
2 限	ラポールづくり	信頼関係を学ぶためのコミュニケーションについて理解する	
3 限	対象化ゲーム	対象化ゲームを通し、自身の気持ちを相手に適切に伝えることができる	
4 限	自己理解・他者理解	ジョハリの窓を通し、盲点部分に気づくことができる	
5 限	対象者の理解	障害を持つ人が参加しやすいレクリエーション内容を考えることができる	
6 限	〃	高齢者が参加しやすいレクリエーション内容を考えることができる	
7 限	〃	子供が参加しやすいレクリエーションを考えることができる	
8 限	昔の遊び	レクリエーションは時代とともに変化し続けていることを理解する	
9 限	コーチング技法	相手のモチベーションを向上させる声掛けや関わり技法を理解する	
10 限	クラスレクリエーション	交流会におけるレクリエーションの企画を考案する	
11 限	〃	〃	
12 限	レクリエーション実施	交流会を実施し、レクリエーションを効果的に展開できる	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	効果測定	交流会の効果を測定し、次回への課題を検討することができる	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 レクリエーションI (コミュニケーション実技)	教員名 遠山 恵		
科目時間数 : 15	限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 2年	開講時期 : 前期・ <u>後期</u> ・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 援助的コミュニケーションについて理解するとともに、多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 コミュニケーションの基本を理解したうえで、具体的なコミュニケーション技法の習得を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】 コミュニケーションの意義・目的について理解し、対人関係づくりに生かす。様々なコミュニケーション技法を理解し、チームにおけるコミュニケーションの重要性を理解する。</p>			
	使用教材	出版社	
	その都度指示		
<p>【使用教室】</p> <p>1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <u>2. レポート</u> <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p>			
<p>【内容】 スポーツインストラクター</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
レクリエーション I		15 限	遠山 恵
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	楽しむことの意義を理解する	
2 限	レク実技	幼児へのレク実技（手遊び）の技法を理解する	
3 限	〃	高齢者へのレク実技（筋力向上レク）の技法を理解する	
4 限	〃	障害者へのレク実技（手話コーラス）の技法を理解する	
5 限	企画方法	体育祭の企画方法を理解する	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	文化祭の企画方法を理解する	
10 限	〃	学校の学びを他者に伝える方法（ポスター発表）を理解する	
11 限	〃	学科の特徴を踏まえたレクリエーション内容を考案できる	
12 限	企画実施	企画した内容を文化祭等で実施し、企画内容が適切に実施できているか検討できる	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	振り返り	企画内容の振り返りと講義の振り返り	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 レクリエーションⅡ (レクリエーション実技)	教員名 橋場 早苗/湊 和美	
科目時間数 : 16 限	授業の種類 : (講義) ・ 演習 ・ (実習)	
必修・選択の別 : (必修) ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : (前期) ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 幼児・児童のレクリエーションの重要性を知り、活動内容を学習する。児童対象の野外活動を行う際の留意点や指導の仕方を学び、実践していく。 高齢者の心身の状況に合わせたレクリエーションの意味・必要性を学び、提供できるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 レジュメを中心にレクリエーションについての理解を深め、実践に生かしていく。特に自然体験の重要性を学び、実際に野外活動を体験する。体験する中で、その重要性の意味を再確認し体得していく。</p> <p>【授業における達成課題】 野外活動へ意欲的に取り組み、児童のレクリエーションの意義を理解する</p>		
	使用教材	出版社
	その都度指示	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () 野外体験</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>		
<p>【内容】 児童福祉施設における保育士・教諭（橋場） 高齢者施設における介護福祉士（湊）</p>		

科目名		科目時限総数	教員名
レクリエーションⅡ		15 限	橋場 早苗／湊 和美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	幼児・児童のレクリエーションとは	幼児・児童のレクリエーションの目的と内容	
2 限	レク実技	幼児・児童のレクリエーションの実践	
3 限	〃	身の回りの物を使った遊びの実践	
4 限	野外活動レクリエーションとは	野外活動の意義と必要性	
5 限	野外活動実践	ネイチャーゲーム体験	
6 限	〃	野外活動の準備と計画	
7 限	〃	小岩井農場 森林体験ゾーンでの実践	
8 限	〃	れう礼者とレクリエーションの内容	
9 限	高齢者のレクリエーション	高齢者にとってのレクリエーションとは	
10 限	〃	レクリエーションの企画	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	レクリエーション実践（高齢者施設）	

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉援助演習Ⅲ		30 限	大鷹 円美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけについて学ぶ	
2 限	臨床心理学とは	臨床心理学の理論・歴史を理解する	
3 限	〃	症状をを持つことの意味について学ぶ	
4 限	〃	発達障害・知的障害について学ぶ	
5 限	〃	心理アセスメントは何かについて学ぶ	
6 限	〃	心理療法の目的を理解する	
7 限	〃	乳幼児期・学童期・青年期の心理的な問題と課題を学ぶ。	
8 限	〃	成人期～老年期の心理的な問題と課題を学ぶ。	
9 限	〃	心の専門家に求められている態度について学ぶ	
10 限	〃	学校のカウンセラーの役割とは何かを理解する	
11 限	〃	臨床心理学での研究について理解する	
12 限	関係機関との連携	外部機関等、多職種の意味を理解する	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	心理面談における基本的態度	カウンセリングについて理解する	
19 限	〃	質問技法を習得する	
20 限	〃	相談者の背景にあるものを引き出す技法を習得する	
21 限	〃	非言語コミュニケーションを習得する	
22 限	〃	カウンセリング技法習得のためのロールプレイ	
23 限	症状について	統合失調症の概要を理解する	
24 限	〃	統合失調症への支援アプローチ法を学ぶ	
25 限	〃	不登校・引きこもりの概要を理解する	
26 限	〃	不登校・引きこもりへの支援アプローチ法を学ぶ	
27 限	〃	うつ病の概要を知り、支援方法を学ぶ	
28 限	〃	発達障害の概要を知り、具体的な支援方法を学ぶ	
29 限	〃	知的障害の概要を知り、具体的な支援方法を学ぶ	
30 限	試験	試験	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	ビジネス実務 I	教員名	厨川 久美子
科目時間数 :	15	限 授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 組織の一員として社会性のある行動とは何か、求められる資質とは何かについて考えながら学び、信頼と安心につながる知識並びにソーシャルスキルの基本を身に付けていくことを目標とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 コミュニケーションとビジネスマナーの基本である、信頼につながる基本行動、話し方と聞き方のポイント、特に敬語表現についての知識と理解を深める。また、学生生活において発生する様々な機会実践することにより、「使える力」につなげていく。</p> <p>【授業における達成課題】 自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および、基礎的なコミュニケーションなど将来職業人として身に付けておくべき知識を習得する。</p>			
	使用教材		出版社
	社会で生きる実践ビジネスマナー		ウイネット
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 公的機関の事務職			

科目名		科目時限総数	教員名
ビジネス実務 I		15 限	厨川 久美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	コミュニケーション・エクササイズ	
2 限	〃	授業の位置づけと受講における必要事項を理解する	
3 限	ビジネスマナーを学習する意義	なぜビジネスマナーが必要なのか	
4 限	〃	ビジネスマナーの基本 3 原則を学ぶ	
5 限	コミュニケーションとビジネスマナー	接遇の 5 つの要素の重要性	
6 限	〃	感じの良い挨拶	
7 限	〃	立ち振る舞いの基本姿勢	
8 限	〃	お辞儀の基本	
9 限	〃	椅子の離着席	
10 限	〃	ビジネスにふさわしい話し方	
11 限	話し方と聞き方の基本	ビジネスの場にふさわしい言葉遣い	
12 限	〃	敬語の種類と必要性	
13 限	〃	尊敬語、謙譲語の使い方	
14 限	〃	美化語についての理解	
15 限	〃	尊敬語、謙譲語の使い方	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教養実践科目 I (国語表現)	教員名 山火 禮子	
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 将来履歴書などにきれいな文字が書けるようになることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 筆順の通りに書くことによって字形整い、線の長短によってバランスの良い文字が書けることを学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 学期末テスト及び課題提出により、草書体・楷書体の書き方を取得する。</p>		
	使用教材	出版社
	上達ペン字・ペン字精習 (上)	日本習字普及協会
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. <input checked="" type="checkbox"/> 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 2. レポート 3. <input checked="" type="checkbox"/> 出席 4. <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 教育機関における教師</p>		

科目名 教養実践科目 I (国語表現)		科目時限総数 30 限	教員名 山火 禮子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ペン字の学び方	姿勢と執筆法が大切なことを学ぶ	
2 限	用具の使い方	ペン字に必要な用具用材を知り、使用方法を学ぶ	
3 限	楷書について	楷書の成立を知り、楷書の書き方を学ぶ	
4 限	楷書の基本点画	横画、縦画、はらい、はねなどの基本点画を学ぶ	
5 限		筆順の通りに書くことによって字形が整うことを知る	
6 限	書展鑑賞	日本で生まれた「かな」の作品を鑑賞することによって美意識を養う	
7 限	ひらがなの書き方	ひらがなの成り立ちを知り、字形に注意して書く	
8 限	ひらがなとカタカナ	カタカナの成立とひらがなの違いを知る	
9 限	漢字とかなの調和	幹事は楷書で、かなと調和よく書くことができる	
10 限	行書の書き方	行書の成り立ち、楷書との違いが分かる	
11 限	行書の基本点画	部首や部分で行書の書き方を会得する	
12 限	漢字とかなの調和	漢字を行書で書き、かなと調和よく書く	
13 限	楷書と行書	楷書と行書の違いが分かる	
14 限	〃	行書の特徴が分かり、書くことができる	
15 限	掲示の書き方	フェルトペンを使用しB4サイズの紙に書くことができる	
16 限	部分の書き方と名称	プリントに示した楷書の部分の名称を書くことができる	
17 限	漢字かな交じり文	漢字を行書でひらがなと調和よく書くことができる	
18 限	はがきのあて名	はがきのあて名を文字の大きさや位置に注意して書くことができる	
19 限	はがきの本文	〃	
20 限	封筒の宛名	〃	
21 限	手紙文の書き方	漢字は行書でひらがなと調和よく書くことができる	
22 限	年賀状の書き方	筆ペンを利用して手書き文字の良さを知る	
23 限	のし袋の書き方	筆ペンを利用して慶弔の書き方ができる	
24 限	のし袋横書き	〃	
25 限	原稿用紙の書き方	原稿用紙の正しい使い方を知る	
26 限	原稿用紙の書き方 (縦)	〃	
27 限	実用書式の書き方	一般的な届出書などの書き方を学ぶ	
28 限	履歴書の書き方	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	試験	試験	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教養実践科目Ⅱ (文書管理)	教員名 滝沢 淳子		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年	開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネス文書の基本を理解し、社会で対応できる正確・迅速な文書が書けるよう学習する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ビジネス文書の役割である「伝達の機能」を理解し、「正確に」「わかりやすく」「簡潔で」「ムダのない」文書をできるだけ迅速に作成し、職場で役立つことのできる知識を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 職場で欠かせないビジネス的な文章・文書用語・様式・関連知識などの知識技能の基礎能力を身に付け、実践することができる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	ビジネス文書実務	早稲田教育出版	
教員用	ビジネス文書実務	早稲田教育出版	
	ビジネス文書実務講義用指導書	〃	
	ビジネス文書検定問題集	〃	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】 実技試験は60点以上を合格とする。</p> <p>評価について：実技試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点医科）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 公益施設での一般事務職員としての勤務経験</p>			

科目名 教養実践科目Ⅱ（文書管理）		科目時間総数 15 限	教員名 滝沢 淳子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	ビジネス文書能力の必要性について。 授業の進め方、検定受験についての説明。	
2 限	ビジネス文書を正しく理解する	ビジネス文書が果たす重要な役割について理解する 伝言メモの作成。箇条書き、要約とメモの演習	
3 限		文書作成技能が求められている理由について理解する	
4 限	文書の基礎知識	文書化の手順について	} 演習を行い、習得する。
5 限		文の成り立ち	
6 限		文章の構成について	
7 限	ビジネス文書	社外文書・社交文書、社内文書の書き方・演習	
8 限		常用漢字、固有名詞、ビジネス用語について	
9 限		仮名書きにすべき語句について	
10 限	文書関連知識	現代仮名遣いの用い方について	
11 限	(分かりやすい文章について)	送り仮名のつけ方、片仮名の書き方、数字の書き表し方	
12 限	(礼儀正しい文章)	一般の用語について	
13 限		同音異義語と異字同訓語について	
14 限		慣用の手紙用語	
15 限		二十四節季、時候の挨拶について、頭語と結語、忌みことばについて よじれない文が書ける、類義語を使い分ける 正しく使い分けるための基本 人を指すことば・敬称、脇付けについて理解する 「お・ご（御）」を正しく付けられるよう理解する 動作のことばにつける尊敬語と謙譲語を正しく使うことができるよう理解する 確認試験を行い理解度をチェックする	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	地域福祉実践	教員名	畠山 修
科目時間数 :	23	限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別 :	<u>必修</u> ・ 選択	担当学年 :	1年
		開講時期 :	<u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 地域に貢献する活動を自ら計画し、実行及び振り返ることで地域福祉を実践的に学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 事例の研究、地域貢献活動の企画・実施を行う。また、企画実施後振り返りを行い、報告会にて互いの成果を共有、批評する。</p> <p>【授業における達成課題】 地域ニーズの捉え方を体得し、地域に即した実践活動を展開できたか。</p>			
	使用教材	出版社	
	教材は適宜紹介する。		
【使用教室】			
<u>1. HR</u>	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (課外活動)	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<u>3. 出席</u>	<u>4. 授業態度</u>
5. 実技試験	<u>6. その他</u> (実践活動の取り組み)		
【備考】			
評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー職			

科目名		科目時限総数	教員名
地域福祉実践		23 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の内容、スケジュールを確認する	
2 限	実践①	企画の準備を行う。	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	企画の実施	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	振り返り・中間報告	振り返りシートを用いて、自身の活動の評価を行い、報告会にて互いの成果を共有する。	
15 限	実践②	地域福祉活動を立案・企画し、スケジュールを立てる	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	企画の準備を行う。	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	企画の実施	
22 限	〃	〃	
23 限	振り返り・報告会	振り返りシートを用いて、活動の評価や成果を共有する。	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	地域福祉実践	教員名	畠山 修
科目時間数 :	23	限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別 :	<u>必修</u> ・ 選択	担当学年 :	2年
		開講時期 :	<u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 地域に貢献する活動を自ら計画し、実行及び振り返ることで地域福祉を実践的に学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 事例の研究、地域貢献活動の企画・実施を行う。また、企画実施後振り返りを行い、報告会にて互いの成果を共有、批評する。</p> <p>【授業における達成課題】 地域ニーズの捉え方を体得し、地域に即した実践活動を展開できたか。</p>			
	使用教材		出版社
	教材は適宜紹介する。		
【使用教室】			
<u>1. HR</u>	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (課外活動)	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<u>3. 出席</u>	<u>4. 授業態度</u>
5. 実技試験	<u>6. その他</u> (実践活動の取り組み)		
【備考】			
評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー職			

科目名		科目時限総数	教員名
地域福祉実践		23 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の内容、スケジュールを確認する	
2 限	実践①	企画の準備を行う。	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	企画の実施	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	振り返り・中間報告	振り返りシートを用いて、自身の活動の評価を行い、報告会にて互いの成果を共有する。	
15 限	実践②	地域福祉活動を立案・企画し、スケジュールを立てる	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	企画の準備を行う。	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	企画の実施	
22 限	〃	〃	
23 限	振り返り・報告会	振り返りシートを用いて、活動の評価や成果を共有する。	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	LHR	教員名	畠山 修
科目時間数 :	25	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 学校生活に必要な連絡事項等や学校行事等の準備を行う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学内イベント等に積極的に取り組むことで、クラスの雰囲気を作り上げていく。</p> <p>【授業における達成課題】 クラスとしてのまとまりとクラスメイトの多様な価値観を認め合う。</p>			
	使用教材	出版社	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 労働行政機関における相談員</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
LHR		25 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	連絡事項・行事等準備	与えられた役割を適切に遂行する	
2 限	”	”	
3 限	”	”	
4 限	”	”	
5 限	”	”	
6 限	”	”	
7 限	”	”	
8 限	”	”	
9 限	”	”	
10 限	”	”	
11 限	”	”	
12 限	”	”	
13 限	”	”	
14 限	”	”	
15 限	”	”	
16 限	”	”	
17 限	”	”	
18 限	”	”	
19 限	”	”	
20 限	”	”	
21 限	”	”	
22 限	”	”	
23 限	”	”	
24 限	”	”	
25 限	”	”	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	LHR	教員名	畠山 修
科目時間数 :	25	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 学校生活に必要な連絡事項等や学校行事等の準備を行う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学内イベント等に積極的に取り組むことで、クラスの雰囲気を作り上げていく。</p> <p>【授業における達成課題】 クラスとしてのまとまりとクラスメイトの多様な価値観を認め合う。</p>			
	使用教材	出版社	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 労働行政機関における相談員</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
LHR		25 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	連絡事項・行事等準備	与えられた役割を適切に遂行する	
2 限	”	”	
3 限	”	”	
4 限	”	”	
5 限	”	”	
6 限	”	”	
7 限	”	”	
8 限	”	”	
9 限	”	”	
10 限	”	”	
11 限	”	”	
12 限	”	”	
13 限	”	”	
14 限	”	”	
15 限	”	”	
16 限	”	”	
17 限	”	”	
18 限	”	”	
19 限	”	”	
20 限	”	”	
21 限	”	”	
22 限	”	”	
23 限	”	”	
24 限	”	”	
25 限	”	”	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
公的扶助論	西山 優佳
科目時間数 : 15	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 4年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢・福祉需要と実際について理解する。また、相談援助活動において必要となる生活保護法やほかの法制度について理解する。また自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 生活保護制度を中心に、低所得者対策や生活困窮者自立支援法の概要を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において精神保健福祉士として必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	出版社
	低所得者への支援と生活保護制度
	株式会社みらい
【使用教室】	
1. HR	2. 介護実習室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
	3. 家政実習室
	4. 視聴覚室
	7. その他 ()
【評価方法】	
1. 筆記試験	2. レポート
5. 実技試験	6. その他 ()
	3. 出席
	4. 授業態度
【備考】	
評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有・無	
【内容】 特別支援学校教育支援員	

科目名		科目時限総数	教員名
公的扶助論		15 限	西山 優佳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	生活保護制度の目的と基本原理	公的扶助の中心をなしている生活後制度の概要を理解する	
2 限	保護の種類と内容	"	
3 限	保護施設と権利と義務	"	
4 限	不服申し立てと訴訟	"	
5 限	財源と予算	"	
6 限	公的扶助の歴史	公的扶助がどのような経緯をたどり現在に至っているか理解する	
7 限	生活保護の動向	統計資料に基づき、被保護人員や被保護世帯の状況から生活保護を嚮住している人の生活状況を学ぶ	
8 限	低所得者対策	生活保護基準と同等の所得水準を学び、保護基準以下の生活に陥るリスクを学ぶ。	
9 限	生活福祉資金貸付	生活福祉資金貸付制度を理解する。	
10 限	社会手当	生活困窮者に適用できる諸制度を学ぶ	
11 限	ホームレス対策	ホームレス対策として、民間社会資源がどのような役割を担っているのかを理解する	
12 限	困窮者自立支援法	新法が生活困窮者にどのような役割を果たしているのかを理解する	
13 限	福祉事務所の役割	ケースワークの中心である福祉事務所の法的位置づけや役割を理解する	
14 限	福祉事務所専門職	福祉事務所に配置される福祉専門職の種類と役割を理解する	
15 限	自立支援プログラム	自立支援プログラムの立案・実施方法を理解する	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医療福祉論	教員名 箱石 隆子
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 4年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士として必要な保健医療サービスの知識の取得を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 相談援助において必要な医療保険制度や保健医療サービスについて「ひと」「もの」「かね」の視点から理解を深める。また、保健医療分野における各種サービスの内容と提供システムを理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 保健医療分野における各種サービスの内容と提供システムを理解し精神保健福祉士としての役割を意識し、ほかの専門性を理解したうえで多職種連携の課題を考える。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	保健医療サービス
	出版社
	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 医療機関における事務職</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
医療福祉論		15 限	箱石 隆子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	保健医療サービスの変化	保健医療サービスをめぐる社会状況の概要を学ぶ	
2 限	社会福祉士専門職の役割	保健医療福祉分野における社会福祉専門職の役割を学ぶ	
3 限	保健医療サービス提供システム	各種サービスの内容と提供システムを学ぶ	
4 限	保健医療サービス提供施設	各種サービスの内容と提供システムを学ぶ	
5 限	医療保険制度による経済的保障	医療保険制度、保険給付、診療報酬制度の仕組みを理解する	
6 限	介護保険制度による経済的保障	介護保険制度の概要や介護報酬について財政的裏付けを知る	
7 限	保健医療サービスとSW	MSWの役割や6つの業務範囲を説明できる	
8 限	専門職の役割	保健医療サービスにおける各専門職の視点と独自性と共通性を分析できる	
9 限	多職種連携	チームアプローチについて連携する大切さを学ぶ	
10 限	専門職の連携	チーム構成員の職能や役割と組織、団体とチーム構成について理解する	
11 限	包括的ケア体制	地域包括ケアシステムの事例を通し、SWとしてできることや課題をまとめることができる	
12 限	保健医療サービスにおける社会資源	地域ネットワークの基となる地域社会資源に目を向ける	
13 限	地域の社会資源の連携	地域と連携のもと、保健医療サービスの実践事例を通し、開発可能な社会資源を考える	
14 限	国家試験対策	国家試験過去問への正答を確実なものとする	
15 限	国家試験対策	国家試験過去問への正答を確実なものとする	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 福祉行財政と福祉計画	教員名 細田 重憲
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 4年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉制度を支える行財政と福祉計画の基本について学習し、福祉サービスが利用者につながるまでの手続き、行政全体の中での福祉行政の位置、財源の構成、施策形成における計画の役割やその作成手法等について理解する</p> <p>【授業全体の内容の概要】 福祉行政の制度、歴史を概観したうえで、行政、財政、福祉計画のそれぞれについて具体的に検討していく。</p> <p>【授業における達成課題】 福祉サービスが利用者につながるまでの行政の役割、福祉行政を支える財源構成、福祉計画の種類、役割、作成手法について理解し、市町村における福祉行財政の概要を説明できる。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	福祉行財政と福祉計画
	出版社
	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p>	
<p>【内容】 行政機関におけるソーシャルワーカー</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
福祉行財政と福祉計画		15 限	細田 重憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	福祉と制度	福祉の主体、対象、方法、定義づけ等について理解する	
2 限	福祉の法制度の展開	福祉の法制度の展開について理解する	
3 限	福祉計画の概要	福祉計画とは何か、その種類等について理解する	
4 限	福祉行政の骨格	福祉行政の枠組みと骨格について理解する	
5 限	社会福祉と法制度	福祉お行政に関する法制度について理解する	
6 限	福祉行政の組織	福祉行政を進める組織について理解する	
7 限	社会福祉基礎構造	福祉行財政を支える基礎構造とその改革の経緯を理解する	
8 限	社会福祉と財政	社会福祉財政の仕組みと国の予算における現状を理解する	
9 限	地方自治体の福祉財源	地方自治体の福祉予算のしくみ、民生費のウエイトを理解する	
10 限	民間社会福祉の財源	社会福祉法人等民間社会福祉活動の財源を理解する	
11 限	福祉行政の組織	福祉行政を担う組織の現状を理解する	
12 限	福祉計画の目的	福祉計画を策定する目的、福祉行財政における意義を理解する	
13 限	ニーズと把握	福祉計画を策定するためのニーズの把握方法を理解する	
14 限	事例研究	介護保険計画	
15 限	事例研究	障害者計画、地域福祉計画	

授業計画表

心理福祉

学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神科ソーシャルワーク論	教員名 松永 和代
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 2年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 歴史や制度の変遷を知ること、その過程でその時代の当事者や支援者たちがどんな思いを抱えてきたのか、その流れが繋がって今を生きている人たちがどんな思いでいるのかを知る一端となります。そのうえで、精神保健福祉士という役職に求められる専門性や価値観について考えることから、生活者としての対象理解を深めます。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 授業はおおむね教科書に沿って進めていきます。</p> <p>【授業における達成課題】 歴史を学ぶ意味を知ること、そこから、今・これからの精神保健福祉士に求められることはどんなことなのかを考えていただくことを重視します。そのためには、対象者理解が深められることが前提となります。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	精神保健福祉相談援助の基盤
	出版社
	中央法規出版
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 障害者支援施設の精神保健福祉士</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
精神科ソーシャルワーク論		15 限	松永 和代
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	精神科ソーシャルワーカーの歴史	
2 限	精神科病院の役割	精神科病院が地域に果たす役割を理解する	
3 限	〃	〃	
4 限	入院支援と退院支援	入院支援、退院支援における支援計画の在り方を学ぶ	
5 限	〃	〃	
6 限	SWと倫理	宇都宮病院事件等の事例から、PSWに求められる倫理を学ぶ	
7 限	〃	〃	
8 限	地域連携支援	社会資源および多職種連携について学ぶ	
9 限	〃	〃	
10 限	相談室の役割	精神科病院内における相談室の機能を理解する	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	事例検討	精神科病院における事例検討を通し効果的な支援を理解する	
14 限	〃	〃	
15 限	記述試験	筆記試験	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神保健福祉援助実習指導	教員名 山舘幸雄・畠山 修		
科目時間数 : 38 限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習		
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 3年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中		
<p>【授業の目的・ねらい】 事前実習及び精神保健福祉援助実習に臨むにあたり、専門職に必要な知識・倫理・技術を確認しつつ、利用者のストレングスに焦点を充てた支援を行うための視点を強化していく。また、精神保健福祉法改正や障害者差別解消法の制定、発達障害者の増加に併せ、その人を支援するための根拠となるニーズを的確に捉える視点を養う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 入念な事前学習を通し、精神保健福祉士の業務の基礎的理解をはじめ、利用者のエンパワメントを促進できるような多角的な支援方法を理解する。各実習施設が展開している相談援助をはじめ、地域保健福祉活動に必要な社会資源を理解するために、精神保健福祉士として何ができるかを各自で検討し、効果的な精神保健福祉援助実習につなげていく。</p> <p>【授業における達成課題】 ・実習計画書の作成を通し、実習の意義や学ぶべきポイントを整理することができる。 ・実習前後のスーパービジョンを通し、実習に対する目標と振り返りを主体的に行い、専門職として必要な知識・倫理・技術を習得できる。</p>			
	使用教材	出版社	
	ソーシャルワーク実習・ソーシャルワーク実習指導	中央法規	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 医療機関の精神保健福祉士			

科目名 精神保健福祉援助実習指導		科目時限総数 38 限	教員名 山舘幸雄・畠山修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	精神保健福祉援助実習の位置づけや実習内容を理解する	
2 限	実習の法的根拠	精神保健福祉士実習に必要な条件や配属先への理解を深める	
3 限	実習事前学習	実習に必要な書類を確認し、各々の様式について根拠を持って説明できる	
4 限	〃	実習配属先への理解を深め、目的意識や達成課題を明確にすることができる	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	実習記録の理解	叙述体・要約体・説明体の記入方法を理解し、客観的な記録の書き方 を取得する	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	実習事前準備	実習先が求める精神保健福祉士の役割を理解する	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	実習を想定した演習	個別ケースに対し、支援が必要な視点や社会資源、支援の方向性を主 体的に考案することができる	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	実習事前スーパービジョン	実習体験を担当教員・学生と共有し、実習に必要な知識や技術、倫理 を再確認する	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	実習事後スーパービ ジョン	実習の振り返りを通して、本実習への課題を意識する	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	実習評価フィード バック	各施設から得られた実習評価に基づき、自己覚知の重要性を理解する	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 限	実習報告書	実習報告書の役割と意義を理解する
32 限	〃	〃
33 限	実習報告書作成	自らの体験内容を言語化し、達成課題に真摯に向き合うことができる
34 限	実習報告書フィードバック	報告内容に対するスーパーバイズ内容に基づき、報告会の内容の骨子を固める
35 限	報告会準備	報告会準備
36 限	〃	〃
37 限	〃	〃
38 限	実習報告会	グループ・スーパービジョンの意義を理解する

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	精神保健福祉援助演習IV	教員名	鎌田文聡
科目時間数 ：	50	授業の種類 ：	(講義) ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ：	(必修) ・ 選択	配当学年 ：	4 年
		開講時期 ：	(前期・後期) ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 学生自身が卒業論文作成に向け、それぞれのテーマに基づいた、国内外の関連文献および諸論文を紹介し合うことを通し、より深く考究できるようにすることを目標とする。</p>			
<p>【授業全体の内容の概要】 学生各自の興味・関心に基づいた、精神医療や福祉、教育、行政等に関連する事例研究、臨床研究、実験研究著書、論文などに触れる事を通し、学生各自の卒業論文の作成にむけ、その力量を育む。</p>			
<p>【授業における達成課題】 学生自身が卒業論文作成に向け、それぞれのテーマに基づいた、国内外の関連文献および諸論文を紹介し合うことを通し、より深く説明できる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用（教科書）			
教師用（参考書）	状況に応じその都度指示する		
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ 実践活動の取り組み ）</p>			
<p>【備考】 評価について：試験の点数、レポートの評価及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>			
<p>【内容】 元特別支援学校校長</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉援助演習IV		50 限	鎌田文聰
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	卒業論文の位置づけ	
2 限	卒論の書き方	様々な論文を読み込み、論文の規格・内容を理解する	
3 限	仮説の立て方	設定したテーマに対し仮説を立て科学的検証の準備を行う	
4 限	仮説を立証するための手段	質問紙法・面接法等仮説を立証する手段を確定させ、信頼性のある論文を作成する意欲を高める	
5 限	構想作成	論文の構成を確実にする	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	文献の探索	自説を支持する文献や論文の探索を行う	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	中間発表会	教員やクラスメイトから、構想についてフィードバックを行う	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	〃	
29 限	本作成に向けてのフィールドワーク	本作成に向け、リサーチ・フィールドワークを行う	
30 限	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 限	本作成に向けてのフィールドワーク	本作成に向け、リサーチ・フィールドワークを行う
32 限	〃	〃
33 限	〃	〃
34 限	〃	〃
35 限	〃	〃
36 限	〃	〃
37 限	〃	〃
38 限	文献の探索	自説を支持する文献や論文の探索を行う
39 限	〃	〃
40 限	〃	〃
41 限	論文提出	本論文を完成した状態で提出する
42 限	〃	〃
43 限	〃	〃
44 限	〃	〃
45 限	〃	〃
46 限	抄録作成	論文の要点をまとめた抄録の意義を理解し、抄録を作成する
47 限	〃	〃
48 限	〃	〃
49 限	卒論発表会に向けての計画	オーディエンス主体の卒業論文発表会を企画する
50 限	卒論発表会	科学的実証の成果を披露し、フィードバックを行う

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	ビジネス実務 I	教員名	厨川 久美子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 1年次のオフィススタディでの学習をもとに、言葉遣い、電話応対、来客応対等のビジネスマナーにおいて、より実践的な技術力の向上を目指すとともに、状況判断について学んでいくことを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 コミュニケーションとビジネスマナーの基本の復習とレベルアップ、敬語と言葉遣いの復習とレベルアップ、電話応対の基本と演習、来客応対の基本と演習を中心に、仕事の基本となる意識および仕事の進め方に関わる認識を深める。</p> <p>【授業における達成課題】 立ち振る舞い、来客応対、電話応対において、それぞれが果たす役割とそれにふさわしい行動を理解し、演習による技術習得を目指す。</p>			
	使用教材	出版社	
	社会で生きる実践ビジネスマナー	ウイネット	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験		6. その他 ()	
【備考】			
評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 公的機関の事務職			

科目名		科目時限総数	教員名
ビジネス実務 I		15 時限	厨川 久美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	オフィススタディの学習の振り返り	
2 限	電話応対	電話応対の重要性	
3 限		演習：電話の受け方の基本	
4 限		不在時の対応	
5 限		演習：電話のかけ方の基本、取次と伝言メモ	
6 限		電話の応対・・・応用練習	
7 限		来客応対	来客応対の基本
8 限	〃	来客応対の流れ	
9 限	〃	応接室への案内と席次のマナー	
10 限	〃	茶菓の接待	
11 限	〃	来客応対演習	
12 限	〃	面接時のマナーの実践練習	
13 限	〃	基本的な立ち振る舞い実践練習	
14 限	〃	授業の振り返り	
15 限	試験	試験	
16 限			
17 限			
18 限			
19 限			
20 限			
21 限			
22 限			
23 限			
24 限			
25 限			
26 限			
27 限			
28 限			
29 限			
30 限			

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	ビジネス実務Ⅱ	教員名	厨川 久美子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	1年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人としての意識を深めることを目的とし、交際業務、郵便業務、社会保険と税などの社会人としての基礎知識を身につけ、仕事を進めるうえで多岐にわたる業務があることの理解と社会人になることについての意識を高める。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 指示の受け方やポイントを整理して説明する、伝達するなどの事例を通し、仕事の定石やわかりやすい話の組み立て方などについて学ぶ。給与明細の見方、社会保険と税金等の学習を通じて働く意識を具体的な形で理解する。慶弔や贈答などの交際業務や工作上必要な郵便業務についても学習を進める。</p> <p>【授業における達成課題】 社会人生活の具体的なイメージに触れることにより、社会人としてスタートするにあたっての不安を軽減し様々な業務を遂行していく自信につなげる。</p>			
	使用教材	出版社	
	社会で生きる実践ビジネスマナー	ウイネット	
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	<input type="checkbox"/> 2. 介護実習室	<input type="checkbox"/> 3. 家政実習室	<input type="checkbox"/> 4. 視聴覚室
<input type="checkbox"/> 5. PC実習室	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 接遇実習室	<input type="checkbox"/> 7. その他 ()	
【評価方法】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
<input type="checkbox"/> 5. 実技試験		<input type="checkbox"/> 6. その他 ()	
【備考】			
評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
【内容】 公的機関の事務職			

科目名		科目時限総数	教員名
ビジネス実務Ⅱ		15 時限	厨川 久美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	オリエンテーション	オフィススタディの学習の振り返り	
2 回	導入	給与明細の見方、社会保険料と税金、源泉徴収と年末調整	
3 回	受容と共感・傾聴	働くということについて	
4 回	〃	自分の言葉で表現するという事について	
5 回	〃	事例：伝言・指示の受け伝え、業務連絡	
6 回	冠婚葬祭のマナー	冠婚葬祭の予備知識	
7 回	〃	返信ハガキの書き方	
8 回	〃	祝儀・不祝儀袋のマナー	
9 回	〃	表書きのいろいろ	
10 回	〃	贈答の基礎知識	
11 回	郵便業務	封筒の種類と料金	
12 回	社会人になるために	面接の目的・形態	
13 回	〃	志望動機と自己PRの作り方	
14 回	〃	信頼される社会人になるために	
15 回	〃	面接マナー練習	
16 回			
17 回			
18 回			
19 回			
20 回			
21 回			
22 回			
23 回			
24 回			
25 回			
26 回			
27 回			
28 回			
29 回			
30 回			

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	就職指導	教員名	畠山 修
科目時間数 :	5	限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	(必修) ・ 選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	(前期) ・ (後期) ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 就職活動に向けたマナーの獲得や、面接練習を通して採用側の心理を読みながら効率的な就職活動に繋げる事を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 面接練習やSPI等適性検査の模擬練習を通し、社会人としての基礎力を高めていく。</p> <p>【授業における達成課題】 自らが希望する就職先の採用試験に合格する事を到達点とする。</p>			
	使用教材	出版社	
	教材は随時紹介する。		
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時間総数	教員名
就職指導		5 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	就職におけるルール・マナー学ぶ	
2 限	履歴書作成	履歴書のフォーマットに忠実に沿った書き方を学ぶ	
3 限	〃	〃	
4 限	面接練習	個人・集団面接の特徴を理解し、適切な応答方法を学ぶ	
5 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	就職指導	教員名	畠山 修
科目時間数 :	10	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	4年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 就職活動に向けたマナーの獲得や、面接練習を通して採用側の心理を読みながら効率的な就職活動に繋げる事を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 面接練習やSPI等適性検査の模擬練習を通し、社会人としての基礎力を高めていく。</p> <p>【授業における達成課題】 自らが希望する就職先の採用試験に合格する事を到達点とする。</p>			
	使用教材	出版社	
	教材は随時紹介する。		
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	<input type="checkbox"/> 2. 介護実習室	<input type="checkbox"/> 3. 家政実習室	<input type="checkbox"/> 4. 視聴覚室
<input type="checkbox"/> 5. PC実習室	<input type="checkbox"/> 6. 接遇実習室	<input type="checkbox"/> 7. その他 ()	
【評価方法】			
<input type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
<input type="checkbox"/> 5. 実技試験	<input type="checkbox"/> 6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時間総数	教員名
就職指導		10 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	業界研究	法人系施設・病院の概要を学ぶ	
2 限	〃	公務員系の施設・病院の概要と組織の特徴を学ぶ	
3 限	〃	児童福祉系の施設の特徴を学ぶ	
4 限	〃	障害福祉系の施設の特徴を学ぶ	
5 限	〃	障害福祉系の施設の特徴を学ぶ	
6 限	〃	県内・県外の求人票を読み込み、キャリアマッチングを行う	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神保健福祉士受験指導 I	教員名 畠山 修		
科目時間数 : 15 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 3年	開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士国家試験に向け、基礎科目・専門科目に対する知識の強化を図り、模擬試験を通し合格を確実なものとしていく。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 過去問への取り組みを通し、国家試験の対策と傾向を掴むことを目的とする。</p> <p>【授業における達成課題】 模擬試験において、合格基準内の点数を獲得する事が出来る。</p>			
	使用教材	出版社	
	精神保健福祉士国家試験解説集	中央法規出版社	
【使用教室】			
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー			

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉士受験指導 I		15 限	畠山 修
主な学習内容と到達目標			
1	オリエンテーション	国家試験受験のための手引きを用い、必要な書類を理解する	
2	共通科目	社会福祉概論	
3		社会福祉概論	
4	〃	地域福祉論	
5	〃	社会理論と社会システム	
6	〃	公的扶助論	
7	〃	地域福祉論	
8	〃	障害福祉制度論	
9	〃	社会保障論	
10	〃	福祉行財政と福祉計画	
11	〃	就労支援	
12	〃	心理学と心理的支援	
13	模擬試験	模擬試験	
14	模擬試験	模擬試験	
15	模擬試験	模擬試験	
16	〃		
17	〃		
18	〃		
19	〃		
20	〃		
21	〃		
22	〃		
23	〃		
24	〃		
25	〃		
26	〃		
27	〃		
28	〃		
29	〃		
30	〃		

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 精神保健福祉士受験指導 Ⅱ	教員名 畠山 修	
科目時間数 : 30 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 4年 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士国家試験に向け、基礎科目・専門科目に対する知識の強化を図り、模擬試験を通し合格を確実なものとしていく。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 過去問への取り組みを通し、国家試験の対策と傾向を掴むことを目的とする。</p> <p>【授業における達成課題】 模擬試験において、合格基準内の点数を獲得する事が出来る。</p>		
	使用教材	出版社
	精神保健福祉士国家試験解説集	中央法規出版社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー</p>		

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉士受験指導Ⅱ		30 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	国家試験受験のための手引きを用い、必要な書類を理解する	
2 限	〃	〃	
3 限	専門科目	精神医学	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	精神保健学	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	心理学	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	精神科リハビリテーション学	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	精神保健福祉論	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	生理心理学	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	精神科ソーシャルワーク論	
25 限	〃	〃	
26 限	〃	〃	
27 限	〃	〃	
28 限	〃	相談援助の基盤	
29 限	〃	〃	
30 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	教員名
地域福祉実践	畠山 修
科目時間数 : 45 限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択	配当学年 : 1 ・ 2 年 開講時期 : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 地域に貢献する活動を自ら計画し、実行及び振り返ることで地域福祉を実践的に学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 事例の研究、地域貢献活動の企画・実施を行う。また、企画実施後振り返りを行い、報告会にて互いの成果を共有、批評する。</p> <p>【授業における達成課題】 地域ニーズの捉え方を体得し、地域に即した実践活動を展開できたか。</p>	
	使用教材
	出版社
	教材は適宜紹介する。
<p>【使用教室】</p> <p><u>1. HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (課外活動)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 <u>6. その他</u> (実践活動の取り組み)</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p>	
<p>【内容】 労働行政機関におけるカウンセラー職</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
地域福祉実践		45 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の内容、スケジュールを確認する	
2 回	実践①	企画の準備を行う。	
3 回	〃	〃	
4 回	〃	〃	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	〃	〃	
8 回	〃	企画の実施	
9 回	〃	〃	
10 回	〃	〃	
11 回	〃	〃	
12 回	〃	〃	
13 回	〃	〃	
14 回	振り返り・中間報告	振り返りシートを用いて、自身の活動の評価を行い、報告会にて互いの成果を共有する。	
15 回	実践②	地域福祉活動を立案・企画し、スケジュールを立てる	
16 回	〃	〃	
17 回	〃	企画の準備を行う。	
18 回	〃	〃	
19 回	〃	〃	
20 回	〃	〃	
21 回	〃	企画の実施	
22 回	〃	〃	
23 回	〃	〃	
24 回	〃	〃	
25 回	〃	〃	
26 回	〃	〃	
27 回	〃	〃	
28 回	〃	〃	
29 回	振り返り・報告会	振り返りシートを用いて、活動の評価や成果を共有する。	
30~45 回	自主企画の実施	各自自主企画にてボランティア実践を行う	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	手話	教員名	我妻信子
科目時間数 :	15	限	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習
必修・選択の別 :	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 :	4年
		開講時期 :	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 聴覚障害についての基本的な理解及び基本的な手話の知識・技術を習得することにより、聴覚障がい者を取り巻く社会的な環境を学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 聴覚障害者の理解、手話の基礎知識について理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について必要な知識と技術を習得する。</p>			
		使用教材	出版社
		手話を学ぼう 手話で話そう	全国手話研修センター
【使用教室】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内容】 労働行政機関における相談員			

科目名		科目時限総数	教員名
手話		15 限	我妻 信子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	授業の位置づけの理解	
2 限	聴覚障害者のコミュニケーション方法	手話の基礎知識、7つのコミュニケーション方法（グループ討議）	
3 限		あいさつの単語	
4 限	〃	名前の紹介・指文字	
5 限	〃	聴覚障害者の生活	
6 限	〃	家族紹介	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	家族紹介（グループ発表）	
9 限	〃	当事者からの話を聞く	
10 限	〃	数字（誕生日、時間、お金）	
11 限	〃	趣味・季節	
12 限	〃	趣味・自己紹介の練習	
13 限	〃	仕事	
14 限	〃	あなたの家を紹介しましょう	
15 限	〃	作文作成	

科目名		科目時限総数	教員名
精神保健福祉援助技術論各論		30 限	西山 優佳
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	精神保健福祉論の理論とその展開の概要を知る	
2 限	オリエンテーション	精神障害者をめぐる施策の概要を知る。	
3 限	個別相談活動の内容と方法	相談援助活動の概要を方法を知る。	
4 限	個別相談活動の内容と方法②	ソーシャルワーク支援のレパトリーを知る	
5 限	個別相談活動の内容と方法③	危機介入モデルを説明できる。	
6 限	個別相談活動の内容と方法④	ソーシャルワークモデルが理解できる。	
7 限	個別相談活動の内容と方法⑤	ICFの歴史および意味を理解できる。	
8 限	個別相談活動の内容と方法⑥	ICFの概要を知り、アセスメント表を活用できる。	
9 限	個別支援の実際①	事例「精神病院の精神保健福祉士の半日」の概要を知る	
10 限	個別支援の実際②	事例「精神病院の精神保健福祉士の半日」の概要を知る。また、活用できる社会資源を理解する。	
11 限	個別支援の実際③	事例「精神科診療所の取り組み」の概要を知る。また、活用できる社会資源を理解する。	
12 限	個別支援の実際④	事例「精神科診療所の取り組み」の概要を知る。また、活用できる社会資源を理解する。	
13 限	個別支援の実際⑤	事例「危機への対処とサービス利用の支援」の概要を知る。また、相談試練事業を活用できる。	
14 限	個別支援の実際⑥	事例「危機への対処とサービス利用の支援」の概要を知る。また、アウトリーチの概要を知る。	
15 限	個別支援の実際⑦	事例「危機への対処とサービス利用の支援」の概要を知る。また、アウトリーチの概要を知る。	
16 限	個別支援の実際⑧	事例「危機への対処とサービス利用の支援」の概要を知る。また、アウトリーチの概要を知る。	
17 限	個別支援の実際⑨	「入院が長期化している精神障害者のある人に対する地域移行支援」の概要を知る。	
18 限	個別支援の実際⑩	地域移行支援の概要について説明できる。	
19 限	集団的援助技術（グループワーク）の定義	グループワークの歴史を知る。	
20 限	集団的援助技術（グループワーク）の定義	グループワークの技法を知る。	
21 限	集団的援助技術（グループワーク）の定義	グループワークの展開方法を知る。	
22 限	集団的援助技術（グループワーク）の実際	『精神科デイケアにおけるプログラム』の実際を知る。	
23 限	集団的援助技術（グループワーク）の実際	『保健所で実施されているデイケア』の実際を知る。	
24 限	集団的援助技術（グループワーク）の実際	「アルコール・薬物依存症」を対象としたプログラムの実際を知る。	
25 限	集団的援助技術（グループワーク）の実際	「アルコール・薬物依存症」を対象としたプログラムの実際を知る。	
26 限	SSTの概要の理解	SSTの概要を理解する。	
27 限	SSTの概要の理解	SSTの概要をビデオ学習を通じてリーダーの役割を理解する。	
28 限	心理家族療法の理解	心理家族療法について理解する。	
29 限	心理家族療法の理解	国府台式心理家族療法について理解する。	
30 限	テスト		

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 医療制度	教員名 箱石 隆子
科目時間数 : 8 限	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 3年 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 精神保健福祉士として必要な各種医療制度を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 医療に携わるものとして、診療報酬を中心とした医療事務を概観する。</p> <p>【授業における達成課題】 医療事務職員との連携について理解できる。</p>	
	使用教材
学生用・教員用	保健医療サービス
	出版社
	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 医療機関における事務職</p>	

科目名		科目時限総数	教員名
医療制度		8 限	箱石 隆子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	医療制度について	診療報酬やレセプトなどの、メディカルクラークについて理解する	
2 限	診療報酬のしくみ	診療報酬の仕組みを理解し、精神保健福祉士が携わることで加算される内容を理解する	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ビジネス実務Ⅱ	教員名 厨川 久美子	
科目時間数 : 8 限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 4年 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 社会人としての意識を深めることを目的とし、交際業務、郵便業務、社会保険と税などの社会人としての基礎知識を身につけ、仕事を進めるうえで多岐にわたる業務があることへの理解と社会人になることについての意識を高める。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 指示の受け方やポイントを整理して説明する、伝達するなどの事例を通し、仕事の定石やわかりやすい話の組み立て方などについて学ぶ。給与明細の見方、社会保険と税金等の学習を通じて働く意識を具体的な形で理解する。慶弔や贈答などの交際業務や工作上必要な郵便業務についても学習を進める。</p> <p>【授業における達成課題】 社会人生活の具体的なイメージに触れることにより、社会人としてスタートするにあたっての不安を軽減し様々な業務を遂行していく自信につなげる。</p>		
	使用教材	出版社
	社会で生きる実践ビジネスマナー	ウイネット
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 公的機関の事務職</p>		

科目名		科目時限総数	教員名
ビジネス実務Ⅱ		8 限	厨川 久美子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	ビジネス実務Ⅰの学習の振り返り	
2 限	導入	給与明細の見方、社会保険料と税金、源泉徴収と年末調整	
3 限	受容と共感・傾聴	働くということについて	
4 限	〃	自分の言葉で表現することについて	
5 限	〃	事例：伝言・指示の受け伝え、業務連絡	
6 限	冠婚葬祭のマナー	冠婚葬祭の予備知識	
7 限	郵便業務	封筒の種類と料金	
8 限	社会人になるために	面接の目的・形態	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	LHR	教員名	畠山 修
科目時間数 :	21	限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<u>必修</u> ・ 選択	配当学年 :	3年
		開講時期 :	<u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 学校生活に必要な連絡事項等や学校行事等の準備を行う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学内イベント等に積極的に取り組むことで、クラスの雰囲気を作り上げていく。</p> <p>【授業における達成課題】 クラスとしてのまとまりとクラスメイトの多様な価値観を認め合う。</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
1. <u>HR</u>	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<u>3. 出席</u>	<u>4. 授業態度</u>
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 労働行政機関における相談員			

科目名		科目時限総数	教員名
LHR		21 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	連絡事項・行事等準備	与えられた役割を適切に遂行する	
2 限	”	”	
3 限	”	”	
4 限	”	”	
5 限	”	”	
6 限	”	”	
7 限	”	”	
8 限	”	”	
9 限	”	”	
10 限	”	”	
11 限	”	”	
12 限	”	”	
13 限	”	”	
14 限	”	”	
15 限	”	”	
16 限	”	”	
17 限	”	”	
18 限	”	”	
19 限	”	”	
20 限	”	”	
21 限	”	”	

授業計画表

心理福祉 学科

盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	LHR	教員名	畠山 修
科目時間数 :	21	限	授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	<u>必修</u> ・ 選択	配当学年 :	4年
		開講時期 :	<u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 学校生活に必要な連絡事項等や学校行事等の準備を行う。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学内イベント等に積極的に取り組むことで、クラスの雰囲気を作り上げていく。</p> <p>【授業における達成課題】 クラスとしてのまとまりとクラスメイトの多様な価値観を認め合う。</p>			
	使用教材	出版社	
【使用教室】			
1. <u>HR</u>	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
1. 筆記試験	2. レポート	<u>3. 出席</u>	<u>4. 授業態度</u>
5. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無			
【内容】 労働行政機関における相談員			

科目名		科目時限総数	教員名
LHR		21 限	畠山 修
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	連絡事項・行事等準備	与えられた役割を適切に遂行する	
2 限	”	”	
3 限	”	”	
4 限	”	”	
5 限	”	”	
6 限	”	”	
7 限	”	”	
8 限	”	”	
9 限	”	”	
10 限	”	”	
11 限	”	”	
12 限	”	”	
13 限	”	”	
14 限	”	”	
15 限	”	”	
16 限	”	”	
17 限	”	”	
18 限	”	”	
19 限	”	”	
20 限	”	”	
21 限	”	”	